

令和6年度 第2回 紀美野町立中学校統合準備委員会

令和6年9月26日(木)
午後 7:00～ 2B会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 町長あいさつ

4 議事

(1) 各部会の報告について

(2) 協議

1 各分会内容について

2 今後のスケジュールについて

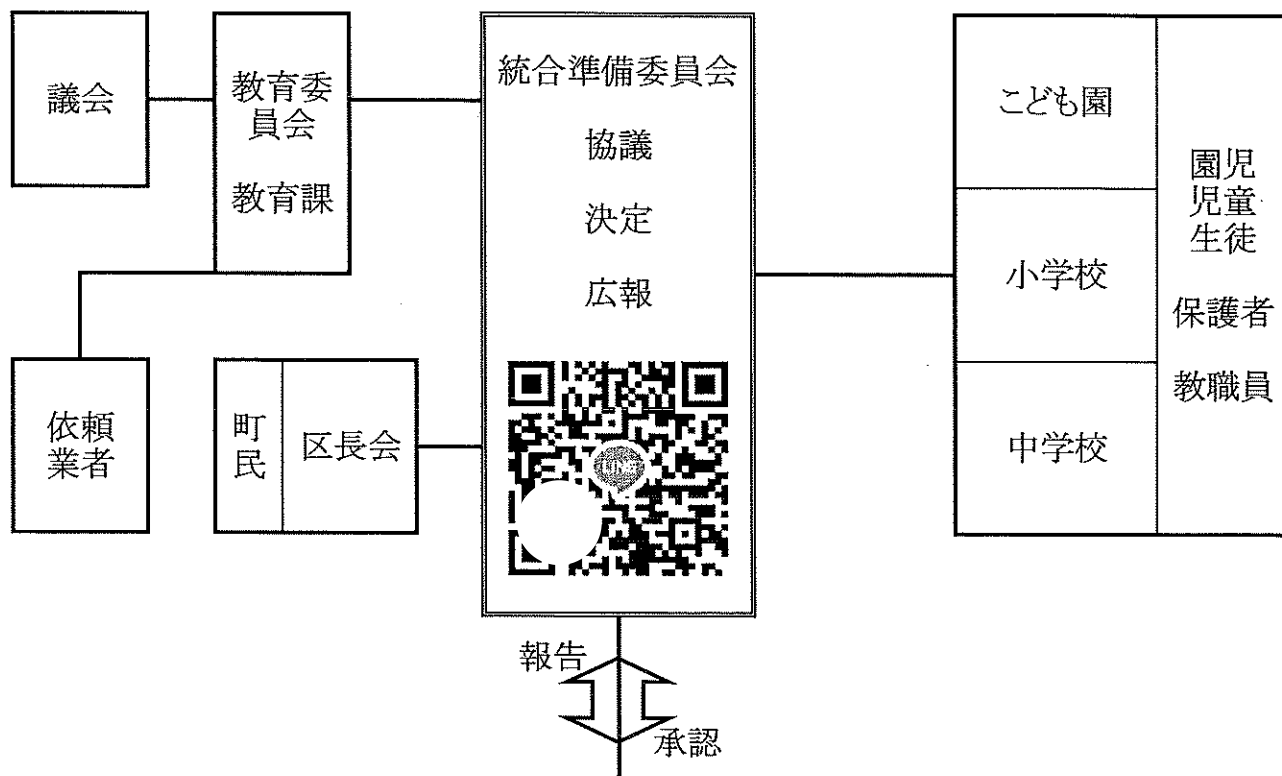
(3) その他

5 閉会

教育長あいさつ

紀美野町立中学校統合準備委員会委員名簿 (令和6年度)

	氏 名	所属等
1	会長 松本 守信	美里中学校区学校運営協議会長
2	副会長 山下 育作	野上中学校区学校運営協議会長
3	清水 幹雄	野上中学校育友会長
4	林 公彦	美里中学校育友会長
5	ファン ダン ナム	野上小学校育友会長
6	東本 隆弥	小川小学校育友会長
7	宇城 哲志	下神野小学校育友会長
8	中屋 侑大	きみのこども園育友会長
9	芝滝 千華	こうのこども園育友会長
10	若林 豊	区長会 会長
11	中野 充	区長会 副会長
12	中谷 康弘	区長会 副会長
13	中家 寛	美里中学校区学校運営協議会副会長
14	中屋 多加志	野上中学校区学校運営協議会副会長
15	小坂 佳子	元美里中学校教頭
16	寫村 敏樹	元野上中学校・美里中学校長
17	松尾 詩朗	元野上小学校長
18	尾崎 弘和	野上中学校長
19	喜多 智英	美里中学校長
20	北川 勝則	野上小学校長
21	森下 左知子	小川小学校長
22	藪根 一仁	下神野小学校長



	《部会1》	《部会2》	《部会3》	《部会4》
項目	校章 校旗	制服(夏・冬)	式典(閉校・開校)	PTA組織
	校歌 校訓	体操服(夏・冬)	記念誌編纂	PTA交流
	校色	バッグ(指定)	記念品展示	
		上靴		
		体育館シューズ		
代表者	瀧村	小坂	中屋多 中家	松尾
事務局(教育課)	東浦 小西	小西 上田 浦	東浦 浦	西田 上田
部会員	松本、山下 中学校長	山下 中屋侑、芝滝、ファン ダンナム、東本、宇 城、清水、林 中学校長・教頭	松本、山下 若林、中野、中谷 清水、林 中学校長・教頭	ファンダンナム、東本 、宇城、清水、林 小中学校長・教頭
LINEグループ 参加用QRコード				

(1) 各部会の報告について

R6.9.26 紀美野町立中学校統合準備委員会 第3部会報告資料
(R6.8.24 開催)

1 記念誌【全48ページ(表紙～裏表紙)】について ※ 原稿のチェック 10月中

- ① 写真の追加 在校生、1・2年前から (P.7 P.13) 卒業記念作品 P.46
- ② 沿革史の追加 令和5・6年度の追加
- ③ 寄稿文書チェック (原稿は8月20日締め切り) 9月末
町長、野上中学校生徒会長
- ④ 全体の編集 野上中学校沿革・写真 追加1ページ ←写真
美里中学校沿革・写真 追加1ページ ←写真

※ 目次を変更 p.4～15 (野上中学校・美里中学校)

p.41～45 長谷毛原中学校 追加1ページ

* ページ確定	表表紙(裏面…1頁目) + 45頁	
	裏表紙(裏面…卒業記念作品写真・編集後記)	9月末
* 入札		10月末
* 落札業者との打ち合わせ		12月中
* 最終確認		1月初
* 発刊部数 …	生徒 143 教職員 35 議員 12 準備委員会 41	1月末
	400 寄稿・協力者 8 町内小 3 町教委 4 海市教・学校 30	
	(358) 来賓 3 行政 5 区長 65 歴代校長 5 町図書 4 県・国図書 4	

2 横断幕について 閉校までの期間に2中学校の外へ掲げる 11月～

- ① 学校へ記載内容を依頼 6月中

野上中学校(案) 1m×4m 閉校・開校の2種類

67年間ありがとう 野上中学校



紀美野中学校開校 令和7年4月

美里中学校(案) 1m×4m ×2枚



- ② 業者へ発注 打ち合わせ 9月中
- ③ 完成 10月末

3 閉校式について

実施日 3月22日(土)…修了式後 野上中；午前 美里中；午後

I部；行政主催、II部；学校主催 ※3月24日(月)振休

I部 ①開式 ②国歌斉唱 ③閉校宣言 ④教育委員会式辞 ⑤町長あいさつ

⑥学校長あいさつ ⑦生徒代表あいさつ ⑧校歌斉唱 ⑨校旗返納 ⑩閉式

II部 《部会一要検討》II部の内容

野上； 生徒・教職員・育友会で検討中

美里； 美里中学校育友会で検討中

4 開校式について(教委で進行)

実施日 4月8日(火)午前9時 開校式(着任式)→始業式 →午後入学式

行政としての行事とする ※講演会を検討(後日)

①開式 ②国歌斉唱 ③開校宣言 ④教育委員会式辞 ⑤町長あいさつ

⑥学校長あいさつ ⑦校旗・校章・校歌を披露 ⑧職員着任 ⑨閉式

5 記念品について

(1)閉校記念 シャープペンシル(67年間ありがとう 野上中学校) 150

(42年間ありがとう 美里中学校) 30

※業者打合せ(生徒・教職員分) 9月末

(2)開校記念 体操服(Tシャツ…紺)

3,000円×200個(生徒・教職員)×1.1=660,000円

《2部会一検討》 記念品の決定

見積り合わせ 1月中

6 メモリアル展示品について

校旗、校章、校訓 改修工事で展示場所を新設(スペースの制限あり)

卒業記念作品は記念誌へ写真を記載

7 必要な情報

神野中学校教頭(昭和26～34年度)

不詳

8 その他

閉校式・開校式への案内状送付

2月初

来賓・招待者について (61+区長会)

《校旗・校章の製作者1、校歌の作詞者・作曲者2》

《議会議員12・準備委員会委員35・歴代校長7(閉のみ)・教育委員4・区長65(6)》

一般案内(広報・HP) … 出席者の座席確保

野上中学校・美里中学校閉校式について

1 開催日 令和7年3月22日（土） 午前；野上中、午後；美里中

※ 給食なし 3月24日（月）振休

修了式後 参加者・来賓の入場

2 式典 第一部 行政主催 第二部 学校主催

3 来賓・招待 議会議員、教育委員、歴代校長、区長、準備委員会委員

（1）第一部 進行；東浦課長

開式のことば 国歌斉唱（CD 伴奏・歌詞付き）

教育委員会式辞（東中教育長）

町長あいさつ（小川町長）

学校長あいさつ（尾崎校長・喜多校長）

生徒代表あいさつ（生徒会長）

校歌斉唱（生徒伴奏）

校旗返納（学校長→町長）※壇上の校旗

閉式のことば

（2）第二部 《検討中》

紀美野中学校開校式・着任式について

1 開催日 令和7年4月8日(火) 9時～ (始業式の前)

※ 着任式までは教委で進行(進行;東浦課長)

※ 式次第;大型テレビ

開式のことば 進行;東浦課長

国歌斉唱(CD伴奏 歌詞付き)

教育委員会式辞(東中教育長)

町長あいさつ(小川町長)

校旗・校章を披露 ※ 紙媒体配布

作成者紹介 (小西課長補佐)

デザインの意味

作成者紹介 (小西課長補佐)

校歌斉唱(CD視聴)

閉式のことば

着任式

開式宣言 進行;東浦課長

? 校歌斉唱(CD歌詞付き)

(教職員は舞台下手で着席→舞台前に整列)

学校長 教頭 教諭等 口頭で紹介

(「氏名」「前任校」…教育長)

学校長あいさつ

閉式宣言

謹啓

春寒の候 貴台におきましては ますますご清祥のこととお慶び申し上げます

さて 昭和33年4月に 東野上中学校・小川中学校・不動中学校が統合して創立した野上中学校は 67年間の歴史を刻んでまいりましたが 令和7年3月31日をもって学窓を閉じることとなりました

4月1日からは 美里中学校と統合して新たに紀美野中学校が開校いたします

つきましては、下記のとおり「閉校記念式典」挙行いたしますので誠に恐縮に存じますが ご参列を賜りますようご案内申し上げます

なお 準備の都合がありますので 2月21日までに同封の葉書にて出欠をお知らせくださるよう 重ねてお願い申し上げます

謹白

令和7年1月吉日

記

日時 令和7年3月22日(土) 午前10時

式場 野上中学校体育館

式典の都合上 午前9時40分～45分に式場にお入りください

駐車場は敷地内(東側出入口)または、職員駐車場をご利用ください

紀美野町立中学区統合準備委員長 松本 守信

紀美野町立野上中学校長 尾崎 弘和

” 育友会長 清水 幹雄

回 覧

令和7年2月吉日

野上中学校区のみなさんへ

紀美野町立中学校統合準備委員会

会 長 松 本 守 信

野上中学校閉校記念式典のご案内

残寒の候、みなさまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和5年度より発足しました当準備委員会への貴重なご意見、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、野上中学校閉校式典を下記のとおり開催いたします。ご多忙の折とは存じますが、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

- 1 期日 令和7年3月22日(土)
- 2 場所 野上中学校体育館
- 3 内容 第1部 閉校記念式典 午前10時～
第2部 閉校の集い 午前10時40分～
- 4 参加にあたってのお願い

参加人数の把握のため、ご出席していただける方は、次の①・②を期日までにご連絡いただきますようお願いいたします。

駐車場はグラウンド(西側出入口)をご利用ください

- ① ご芳名、
② ご出席いただける部(第1部・第2部の別、または両方)
※ 締切日 令和7年3月3日(月)

5 出席についてのご連絡先

◇メール 教育課相談窓口

アドレス jh-sodan-kyoiku@town.kimino.lg.jp

件名「野上中学校閉校式」

◇電話 紀美野町教育課(教育委員会事務局) 番号 489-5910

謹啓

春寒の候 貴台におきましては ますますご清祥のこととお慶び申し上げます

さて 昭和58年4月に 神野中学校・不動中学校が統合して創立した美里中学校
は 42年間の歴史を刻んでまいりましたが 令和7年3月31日をもって学窓を閉
じることとなりました

4月1日からは 野上中学校と統合して新たに紀美野中学校が開校いたします

つきましては、下記のとおり「閉校記念式典」挙行いたしますので誠に恐縮に存じ
ますが ご参列を賜りますようご案内申し上げます

なお 準備の都合がありますので 2月21日までに同封の葉書にて出欠をお知ら
せくださるよう 重ねてお願い申し上げます

謹白

令和7年1月吉日

記

日時 令和7年3月22日（土）午後2時

式場 美里中学校体育館

式典の都合上 午後13時40分～45分に式場にお入りください

駐車場はグラウンド（西側出入口）をご利用ください

紀美野町立中学区統合準備委員長 松本 守信

紀美野町立美里中学校長 喜多 智英

” 育友会長 林 公彦

回 覧

令和7年2月吉日

美里中学校区のみなさんへ

紀美野町立中学校統合準備委員会
会 長 松 本 守 信

美里中学校閉校記念式典のご案内

残寒の候、みなさまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和5年度より発足しました当準備委員会への貴重なご意見、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、美里中学校閉校式典を下記のとおり開催いたします。ご多忙の折とは存じますが、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

- 1 期日 令和7年3月22日(土)
- 2 場所 美里中学校体育館
- 3 内容 第1部 閉校記念式典 午後2時～
第2部 閉校の集い 午後2時40分～

4 参加にあたってのお願い

◇ 参加人数の把握のため、ご出席していただける方は、次の①・②を期日までにご連絡いただきますようお願いします。

◇ 駐車場はグラウンド(西側出入口)をご利用ください

① ご芳名

② ご出席いただける部(第1部・第2部の別、または両方)

※ 締切日 令和7年3月3日(月)

5 出席についてのご連絡先

◇メール 教育課相談窓口

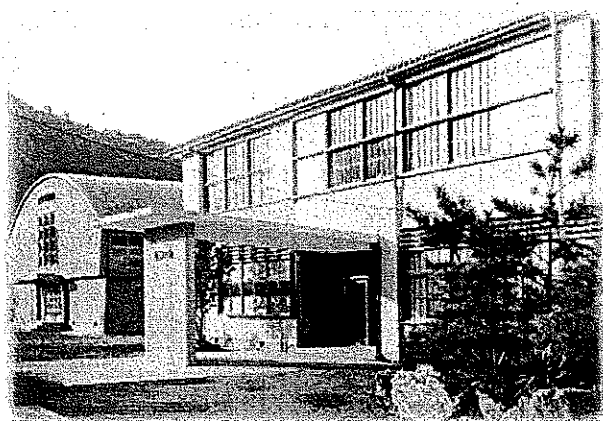
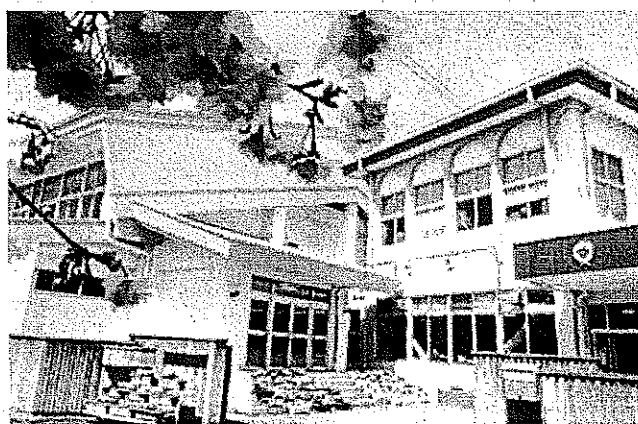
アドレス jh-sodan-kyoiku@town.kimino.lg.jp

件名「美里中学校閉校式」

◇電話 紀美野町教育課(教育委員会事務局) 番号 489-5910

野上中学校 美里中学校

記念誌



1962年頃

野上中学校67年間



1975年頃
(神野中学校)

美里中学校42年間



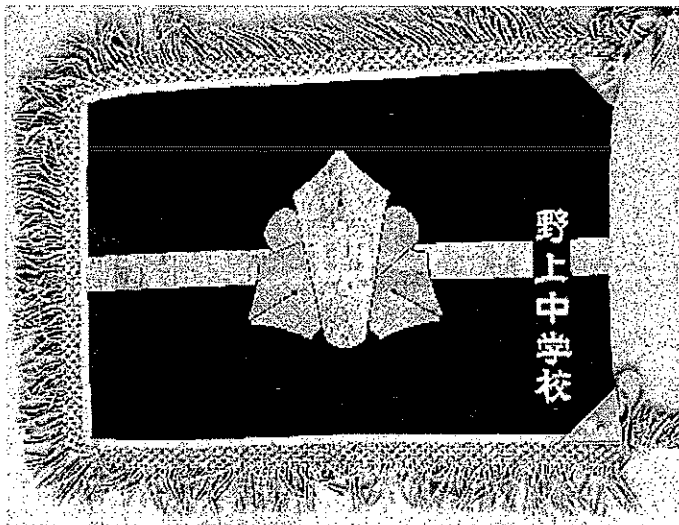
野上中学校

野上中学校校歌

作詞 吉田 敏

作曲 北原 雄一

- 1 仰ぐ生石の 山なみに 今日も希望の 雲がとぶ
三つの誓いも たのもしく ここにつどえる 青春の
ああ夢多き 若きわれらの時代よ のかみ のかみ
おお 野上中学 栄えあれ 栄えあれ
- 2 きくや野上の せせらぎに 明日の理想を 描きつつ
まことを求め ゆくところ いのちのさちの 溢るるを
ああ遥かなる 若きわれらの行く手よ のかみ のかみ
おお野上中学 栄えあれ 栄えあれ
- 3 み佐々が原の 朝明けに 自由を告ぐる 鐘はなる
平和の願い ひとすじに 明るく清く 生くる日の
ああ輝ける 若きわれらの母校よ のかみ のかみ
おお 野上中学 栄えあれ 栄えあれ





美里中学校

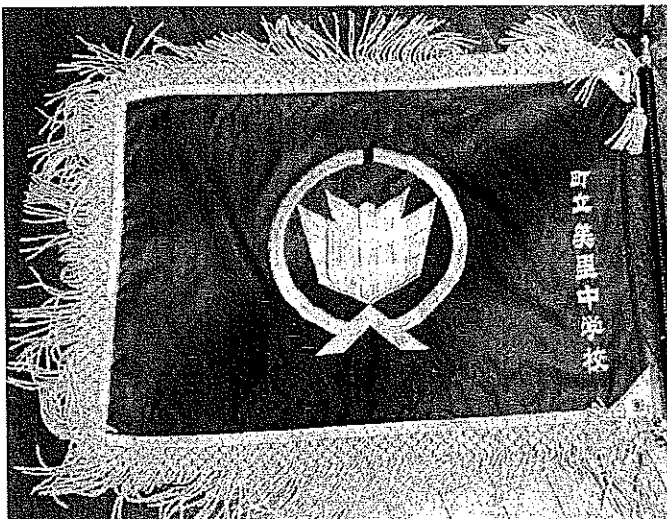
美里中学校校歌

作詞 吉田 敏

作曲 打垣内 正

1 ひんがしの空 明けそめて 自由の鐘は なりひびく
ああ人生の 朝明けに 民主の息吹き 野にみちて
知識の泉 汲みかわす
自治の学園 われらが母校

3 丘のまどいに 三つとせを 真理を求め ひらすらに
高き理想に あこがれる 若き胸の血汐 火ともえて
希望に生きる 友と友
かぐわし学園 われらが母校



校訓

「和」

和を 貴しと 為す

なにをやってもいくにも 人と人との和が なくてはできるものではないと
和の必要を説いた 有子のことばである。

また、聖徳太子の「十七条の憲法」の第一条にも

「和を以って 貴しとなす」とある

学校生活でも、互いの協力が 共に伸びることになる。

目 次

【野上中学校・美里中学校編】

p.1～2	野上中学校歌・美里中学校歌
p.3	目次
p.4～7	野上中学校沿革史
p.8	野上中学校歴代役職等
p.9	野上中学校生徒数の変遷
p.10～13	美里中学校沿革史
p.14	美里中学校歴代役職等
p.15	美里中学校生徒数の変遷

【寄稿編】

p.16	紀美野町長
p.17	紀美野町教育長
p.18	野上中学校長
p.19	美里中学校長
p.20	野上中学校育友会長 美里中学校育友会長
p.21	野上中学校生徒会長 美里中学校生徒会長
p.22	野上中学校区・美里中学校区 学校運営協議会長
p.23	神野中学校卒業生 不動中学校卒業生
p.24	国吉中学校卒業生 長谷毛原中学校卒業生

【資料編】

p.25	新制中学校発足以降の統合歴
p.26	昭和22年創立中学校に関する資料
p.27	東野上中学校沿革史
p.28	小川中学校沿革史
p.29～32	神野中学校 (沿革史・校歌・歴代役職等・生徒数の変遷)
p.33～36	不動中学校 (沿革史・校歌・歴代役職等・生徒数の変遷)
p.37～40	猿川中学校・国吉中学校 (沿革史・校歌・歴代役職等・生徒数の変遷)
p.41～45	長谷毛原中学校 (沿革史・校歌・歴代役職等・生徒数の変遷)

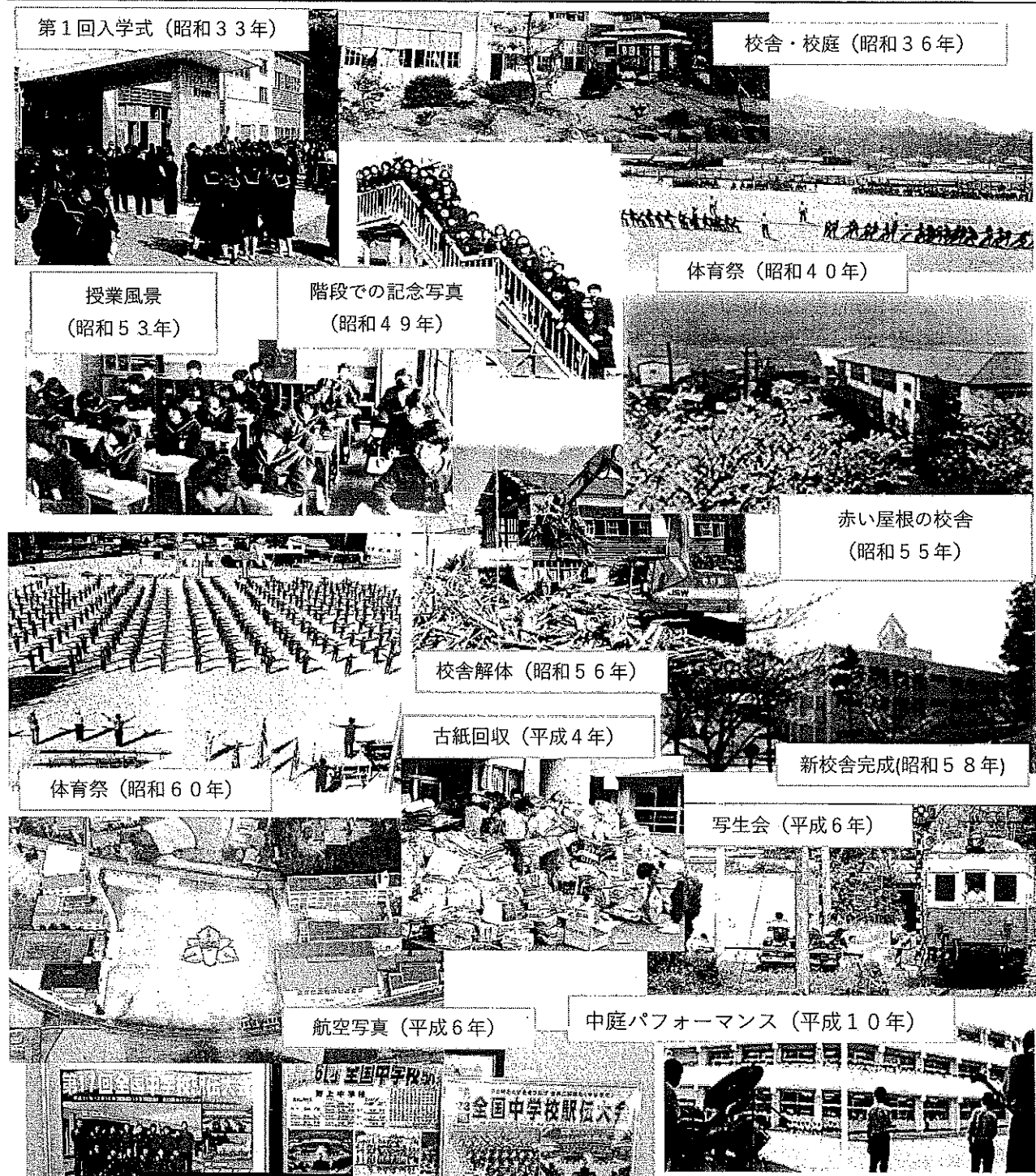
【野上中学校編】

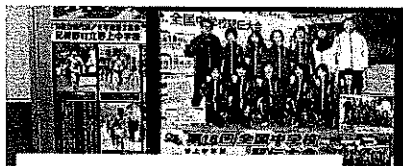
野上中学校沿革（1983年5月～）

昭和33年3月29日	野上町の中央に統合中学校舎が完成し、落成式を挙げる。
昭和33年4月8日	第1回入学式を挙げる。（入学生126名）
昭和33年4月14日	三校統合を象徴し、ペン三本を組み合わせた校章を制定する。
昭和33年5月8日	町公民館にて育友会設立総会を開催する。
昭和34年3月10日	校歌制定（作詞 吉田 敏 作曲 北原雄一）
昭和34年3月20日	第1回卒業証書授与式を挙げる。（卒業生193名）
昭和35年4月9日	校訓「和而不同」を制定。武者小路実篤氏に揮毫を依頼する。
昭和35年5月25日	体育館完成に伴う落成式を挙げる。
昭和37年4月9日	生徒必携の書として生徒手帳を制定する。
昭和37年11月12日	廃品回収の利益、及び校費にてグランドピアノを購入する。
昭和39年10月30日	東京オリンピック開催を記念して、洋式庭園、岩石園、相撲場等を建造する。
昭和41年9月5日	生牛乳の補食給食を開始する。
昭和43年1月13日	中学校発足20周年、本校創立10周年記念式を挙げる。小川中学校、東野上中学校、野上中学校同窓会名簿を作成する。
昭和43年1月29日	冬季味噌汁給食を開始する。
昭和43年10月6日	屋野房太郎氏より時計塔が寄贈される。
昭和45年12月11日	下佐々地区より電気計算機が寄付される
昭和47年	プール竣工式を挙げる。
昭和48年10月20日	自転車通学生徒全員が、ヘルメットを着用することとする。
昭和49年9月16日	柔道剣道場を改装し、町格技場として道場開きを行う。
昭和50年9月1日	生徒自転車置き場、体育部室が完成する。
昭和54年9月15日	育友会で第1回キックベースボール大会を開催する。（参加230名）
昭和54年9月18日	保健統計優良校として文部大臣表彰を受ける。
昭和59年11月13日	文部省指定中学校教育課程研究発表会を開催する。国語科・数学科・特別活動の授業公開、生徒会による生徒発表、研究発表、講演を実施する。（講師；河原政則氏）
昭和63年9月18日	見上あさみ氏寄贈、橋本和明氏作成のブロンズ像「風のしらべに」を披露する。
昭和63年11月16日	本校育友会が優良PTA文部大臣表彰を受ける。
平成2年4月22日	体育館完成記念行事として、中国山東省雑技団が公演する。小中学校児童生徒が鑑賞する。
平成2年11月15日	県音楽教育研究会を野上町小中学校で開催する。中学部で授業を公開する。（平成5年度も同様に公開）
平成3年1月31日	創立30周年を記念する集いを開催する。（講師 津本 陽氏、参加 生徒430名、一般200名）
平成5年4月26日	町立武道館の竣工式が挙行される。
平成5年10月28日	普通教室2室を改装してコンピュータ室とし、機器を設置。
平成6年11月22日	文部省指定武道指導推進校実践成果発表会を授業公開・実践発表・講演の日程で開催する。テーマ「自ら学ぶ意欲を高め、豊かな心を育成する武道指導はどうあるべきか」（講師 作道 正夫氏）
平成7年1月24日	生徒会・育友会ともに、阪神淡路大震災による被災地への義援金を送る。
平成8年5月29-31日	本校独自の計画で春季に3年生修学旅行を実施する。
平成9年11月21日	県特殊（特別支援）教育研究会が本町小中学校で開催される。本校では、授業公開と分科会を実施する。
平成10年3月30日	創立40周年を記念し、クスノキを中庭西側に植樹する。

平成12年11月7日	総合的な学習の時間の試行が始まる。2年生が本年度より町内事業所で勤労体験を実施することとなる。(1年生;ボランティア活動、3年生;生き方学習)
平成14年4月13日	学校週5日制度が実施され、土曜日が休業となる。
平成14年11月8日	県学校体育研究大会が本町で開催される。本校では授業公開を実施する。
平成15年11月20日	科学部が日本学生科学賞県知事賞を受賞する。
平成17年11月29日	平成16・17年度文部科学省指定「児童生徒の心に響く道徳教育推進校」として、実践研究成果発表会、兼近畿中学校道徳教育研究大会を授業公開・研究発表・講演の日程で開催する。(講師 横山 利弘 氏)
平成18年1月1日	野上町と美里町が合併して紀美野町となる。校名を紀美野町立野上中学校と改称する。
平成18年4月10日	これより開校記念日を休業日としないことを決定する。
平成19年4月24日	全国学力学習状況調査が3年生を対象に実施される。
平成19年10月27日	平成18・19年度文部科学省指定「児童生徒の心に響く道徳教育推進校」として、実践研究成果発表会を授業公開・研究発表・講演の日程で開催する。(講師 南本 長穂 氏)
平成20年11月16日	白浜町で開催された県中学校駅伝競走大会において、男子チームが優勝する(12月21日、山口県で開催の全国大会出場)。
平成20年10月24日	道徳教育実践研究の一環として、「心を伝える話し方」をテーマに教育講演会を開催する。生徒・教職員・保護者・地域住民が聴講する。(講師 宮上 明子 氏)
平成21年10月30日	平成20・21年度文部科学省指定「道徳教育推進校」として、実践研究成果発表会を授業公開・研究発表・講演の日程で開催する。(講師 島 恒生 氏)
平成21年11月15日	本町で開催された県中学校駅伝競走大会において、男子チームが優勝する(12月18日、山口県で開催の全国大会出場)。また、女子チームが第2位となる。
平成22年8月9日	吹奏楽部が県吹奏楽コンクールで金賞を受賞する。
平成22年11月21日	本町で開催された県中学校駅伝競走大会において、女子チームが優勝する(12月18日、山口県で開催の全国大会出場)。
平成23年3月24日	生徒会・育友会が、3月14日に発生した東日本大震災被災者への義援金を町役場と通じて支援する。
平成23年5月13・15日	東日本大震災の影響で、修学旅行を長崎方面で実施する。
平成23年8月23日	本校の長年にわたる地域貢献活動(高齢者への絵手紙、地域清掃等)に対して和歌山キワニス賞の表彰を受ける。
平成24年8月19日	下佐々地区自主防災組織と全校生徒が合同防災訓練を実施する。避難所設営・運営に協力する。
平成25年4月9日	中学校給食が開始、下神野小学校調理場から配送される。
平成25年6月21日	校舎の大規模改修工事を開始(平成26年2月3日まで)
平成27年11月15日	本町で開催された県中学校駅伝競走大会において、男子チームが優勝する(12月12日、山口県で開催の全国大会出場)。
平成28年5月23日	闘病中の向山美好教諭が逝去される。遺族により本校教育支援のための「向山基金」を設置。
平成29年12月8日	創立60周年式典を挙げる。水谷もりひと 氏による記念講演は、町民大学講座を兼ねて開催する。(参加約300名)
平成30年7月27日	野上中学校区コミュニティスクール第一回運営協議会を開催する。
令和2年2月5日	「きみの未来フォーラム」を本校体育館で開催する。本校・大成校舎・りら創造の生徒発表と地域住民を含めた参加者でグループトークを行う。

令和2年3月2日	新型コロナウイルス感染症対策のため政府要請により臨時休業となる。(後に休業期間は5月31日までとなる)
令和2年5月11日	臨時休業中にオンライン学習を実施する。
令和4年9月21日	紀美野町立学校設置条例の一部改正により、野上中学校・美里中学校を廃校として令和7年4月1日から「紀美野町立紀美野中学校」の設置を町議会で決定する。
令和4年11月30日	令和7年度新中学校開校に向け、美里中学校区学校運営協議会と野上中学校区学校運営協議会を合同開催する。(会場:野上小学校)
令和5年12月4日	りら創造芸術高等学校生による公演を体育館で開催し、本校・美里中学校生徒で鑑賞する。





全国中学校駅伝出場
女子（平成22年）



全国中学校駅伝出場
男子（平成20・21・27年）

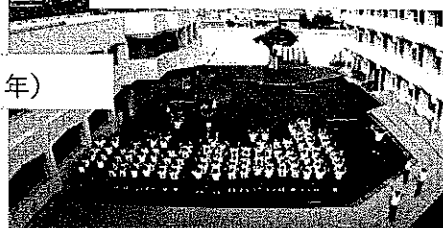


校内音楽祭（平成25年）

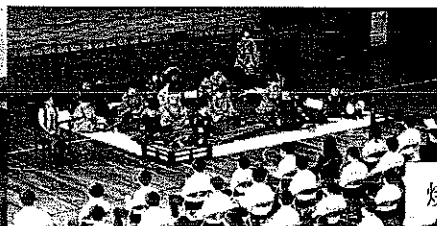


ダンスの授業（平成26年）

ドローンでの撮影（令和2年）

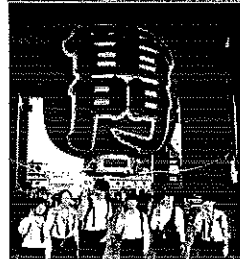


修学旅行—伊勢方面（令和4年）



焼き芋づくり（令和4年）

文化庁巡回公演「雅楽」令和4年



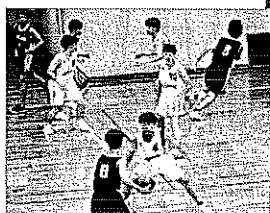
思春期講座（令和5年）



予餞会—WINDS（令和5年）

プール掃除（令和4年）

修学旅行（令和5年）



2年生遠足（令和6年）



修学旅行（令和6年）

海草大会優勝（令和6年）



県大会準優勝（令和6年）



定期演奏会（令和6年）

野上中学校歴代管理職・育友会長

■ 歴代校長

敬称略

① 吉田 敏 (昭和33～40年度)	⑨ 竹内 宏行 (平成8～12年度)
② 中原 正治 (昭和41～47年度)	⑩ 橋戸 常年 (平成13～19年度)
③ 橋本 常一 (昭和48～50年度)	⑪ 道下 雄三 (平成20～23年度)
④ 北山 武児 (昭和51～56年度)	⑫ 山下 育作 (平成24～27年度)
⑤ 口井輝一郎 (昭和57～59年度)	⑬ 中屋多加志 (平成28・29年度)
⑥ 吉田 耕治 (昭和60・61年度)	⑭ 浦 明裕 (平成30～令和2年度)
⑦ 岡 宏 (昭和62～平成4年度)	⑮ 鷲村 敏樹 (令和3年度)
⑧ 南方 好治 (平成5～7年度)	⑯ 尾崎 弘和 (令和4～6年度)

■ 歴代教頭

敬称略

① 西峯 茂夫 (昭和33・34年度)	⑪ 松下 整諫 (昭和62～平成3年度)
② 松本 寅二 (昭和35～38年度)	⑫ 中畠 健 (平成4～6年度)
③ 寺山 勇作 (昭和39～45年度)	⑬ 福田 佳史 (平成7～15年度)
④ 北山 武児 (昭和46～50年度)	⑭ 大西 孝亮 (平成16～20年度)
⑤ 山畑 義正 (昭和51年度)	⑮ 山下 育作 (平成21・22年度)
⑥ 岩倉 崇 (昭和52年度)	⑯ 中浦 晴美 (平成23～25年度)
⑦ 栗本 格男 (昭和53・54年度)	⑰ 前田 耕平 (平成26・27年度)
⑧ 浅川 純爾 (昭和55～57年度)	⑱ 中家 敦司 (平成28～30年度)
⑨ 柳瀬 昌宏 (昭和58・59年度)	⑲ 喜多 智英 (平成31～令和3年度)
⑩ 岡 宏 (昭和60・61年度)	⑳ 廣田 隆弘 (令和4～6年度)

■ 歴代育友会長

敬称略

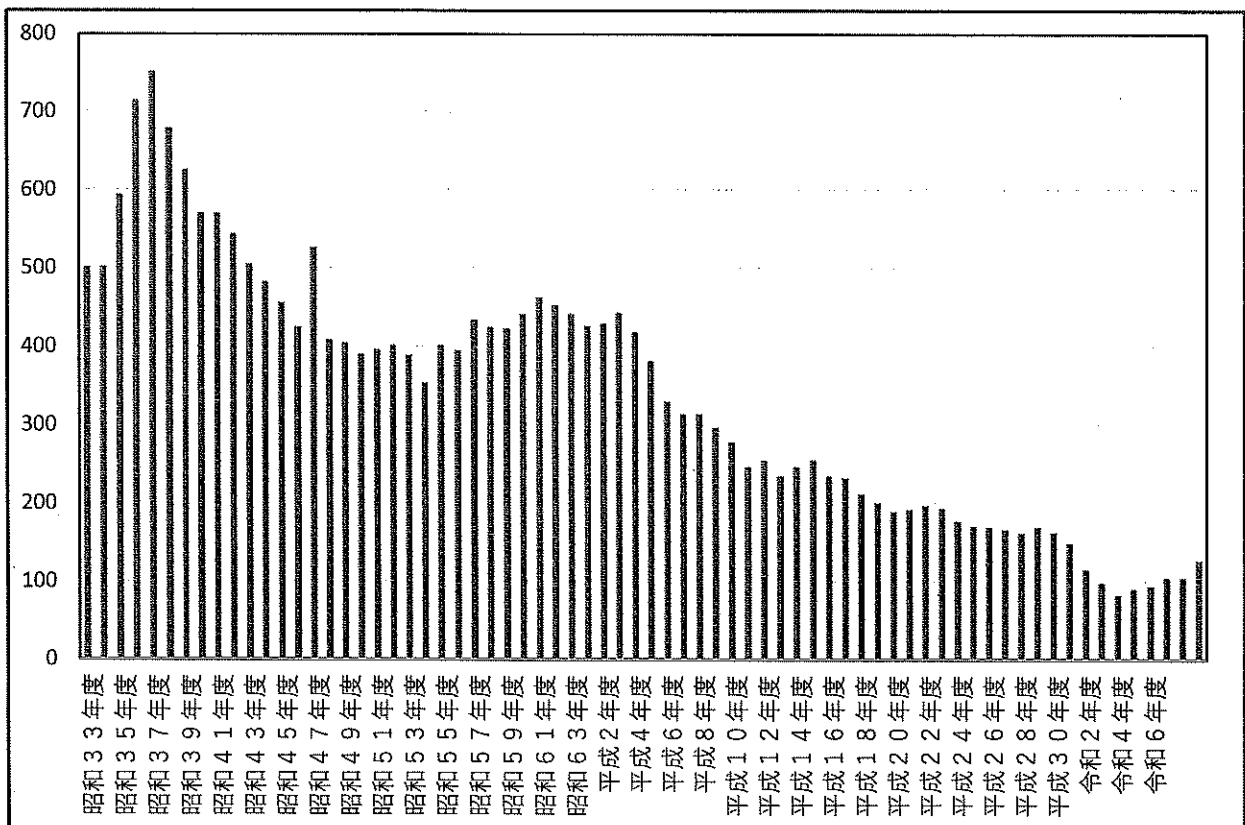
① 藪 信夫 (昭和33・34年度)	⑲ 林 秀吉 (平成11年度)
② 西本 勉 (昭和35・36年度)	⑳ 中谷 展也 (平成12年度)
③ 宗 正彦 (昭和37～40年度)	㉑ 曲里 雅人 (平成13年度)
④ 寺本 正次 (昭和41・42年度)	㉒ 湯上ひとみ (平成14年度)
⑤ 山下 登 (昭和43・44年度)	㉓ 増谷 守哉 (平成15年度)
⑥ 池本 司 (昭和45～47年度)	㉔ 中谷 展也 (平成16年度)
⑦ 西原 和夫 (昭和48・49年度)	㉕ 田伏 嘉子 (平成17年度)
⑧ 北 貞治 (昭和50～52年度)	㉖ 西浦 充生 (平成18年度)
⑨ 大野 勝一 (昭和53・54年度)	㉗ 梅原 健嗣 (平成19年度)
⑩ 温井 救之 (昭和55・56年度)	㉘ 村畠 康秀 (平成20年度)
⑪ 丸畑 邦夫 (昭和57・58年度)	㉙ 中谷 昌弘 (平成21年度)
⑫ 垣内 主税 (昭和59年度)	㉚ 細谷 康則 (平成22年度)
⑬ 前田 社郎 (昭和60・61年度)	㉛ 今野 和真 (平成23年度)
⑭ 東芝 学 (昭和62年度)	㉜ 西田 善光 (平成24年度)
⑮ 朝川 睦夫 (昭和63～平成元年度)	㉝ 丸畑 明彦 (平成25年度)
⑯ 結城 嗣郎 (平成2年度)	㉞ 山本 潤子 (平成26年度)
⑰ 上田 勝彦 (平成3年度)	㉟ 桑添 公博 (平成27年度)
⑱ 浦野 英男 (平成4年度)	㊱ 田淵 鉄也 (平成28・29年度)
⑲ 小椋 孝一 (平成5年度)	㊲ 堀 正明 (平成30年度)
㉑ 橋本 裕史 (平成6年度)	㊳ 中西 敏揮 (令和元年度)
㉒ 菊本 邦夫 (平成7年度)	㊴ 平川 太一 (令和2年度)
㉓ 西山 修平 (平成8年度)	㊵ 兼本 得善 (令和3年度)
㉔ 中井 弘 (平成9年度)	㊶ 山下日出人 (令和4年度)
㉕ 谷坂 勉 (平成10年度)	㊷ 清水 幹雄 (令和5・6年度)

野上中学校生徒数の変遷

年度	生徒数
昭和33年度	501
昭和34年度	502
昭和35年度	594
昭和36年度	715
昭和37年度	752
昭和38年度	679
昭和39年度	626
昭和40年度	570
昭和41年度	570
昭和42年度	544
昭和43年度	505
昭和44年度	483
昭和45年度	456
昭和46年度	425
昭和47年度	526
昭和48年度	409
昭和49年度	405
昭和50年度	391
昭和51年度	396
昭和52年度	402
昭和53年度	389
昭和54年度	354
昭和55年度	402

年度	生徒数
昭和56年度	395
昭和57年度	434
昭和58年度	425
昭和59年度	423
昭和60年度	441
昭和61年度	462
昭和62年度	453
昭和63年度	442
平成元年度	426
平成2年度	429
平成3年度	443
平成4年度	419
平成5年度	382
平成6年度	330
平成7年度	314
平成8年度	314
平成9年度	297
平成10年度	278
平成11年度	247
平成12年度	256
平成13年度	235
平成14年度	233
平成15年度	212
平成16年度	201
平成17年度	190
平成18年度	192
平成19年度	197
平成20年度	194
平成21年度	178
平成22年度	171
平成23年度	170
平成24年度	167
平成25年度	162
平成26年度	170
平成27年度	163
平成28年度	149
平成29年度	116
平成30年度	99
令和元年度	83
令和2年度	91
令和3年度	94
令和4年度	105
令和5年度	105
令和6年度	127

年度	生徒数
平成14年度	233
平成15年度	212
平成16年度	201
平成17年度	190
平成18年度	192
平成19年度	197
平成20年度	194
平成21年度	178
平成22年度	171
平成23年度	170
平成24年度	167
平成25年度	162
平成26年度	170
平成27年度	163
平成28年度	149
平成29年度	116
平成30年度	99
令和元年度	83
令和2年度	91
令和3年度	94
令和4年度	105
令和5年度	105
令和6年度	127



美里中学校沿革（1983年4月～）

昭和58年4月1日	神野中学校と不動中学校が統合して美里中学校開校 (生徒数135名)
昭和58年4月5日	体育館竣工
昭和58年6月7日	開校記念祝賀式挙行。けやきを記念植樹する。
昭和59年2月15日	校歌制定(旧神野中学校校歌)
昭和59年6月1日	開校記念日を6月1日に制定
昭和60年4月1日	国吉中学校を統合
昭和62年10月6日	長谷毛原中学校と合同で意見発表会を開催する。
昭和62年6月20日	セミナーハウス未来塾で4泊5日の集団合宿を実施(1年生)
昭和62年8月16日	// (2年生)
昭和62年8月23日	// (3年生)
平成2年10月23日	文部省指定心身障害児理解推進校研究発表会の開催する。和歌山大学附属養護学校の生徒も交流学习として参加し、盛大に行われた。(参加75名)
平成3年10月7日	新宮橋架け替え工事完了
平成4年9月12日	第二土曜日が休業となる。
平成6年10月10日	美里町スポレク祭・町民ゲートボール大会が開催され全校生徒が参加する。
平成6年11月14日	文部省指定「教育課程研究発表会」を開催する。(参加120名)
平成7年7月8日	「星の動物園みさと天文台」オープニングイベントとして講演会を本校で開催する。(講師;佐藤文隆・渡辺潤一 両氏)
平成7年11月23日	県小中学校音楽祭に海草地方代表として2年生が出演する。
平成8年11月18日	第1回校内文化祭を実施する。(大阪芸術大学クラリネット演奏、生徒舞台発表、生徒作品・学習成果の展示)
平成9年1月27日	校訓「和」を制定する。
平成9年2月18日	本校ホームページを開設する。
平成11年6月5日	郵政省「自治体ネットワーク施設整備事業」のテレビ会議システムにより鹿児島県志学館中学校と生徒会役員・コンピュータクラブ員がテレビ会議で交流する。
平成11年10月31日	「ネットデイ美中」として、地域内外のボランティアの尽力により校内インターネットLAN工事を行う。
平成11年11月30日	「情報教育実践研究」自主研究発表会を開催する。(参加約200名)
平成13年11月27日	平成12・13年度県指定「総合的な学習の時間」先行実施の実践研究発表会を開催する。(参加者150名)
平成14年2月18日	本校の教育実践が、県教育研究奨励賞団体賞を受賞する。
平成18年1月1日	野上町・美里町が合併して紀美野町となり、紀美野町立美里中学校に改称する。
平成18年11月28日	県指定「きのくに学びの創成」研究発表会を公開授業・全体会・講演会の日程で開催する。講師;遠藤瑛子 氏(平成19年度は11月13日に開催)

平成20年9月1日	下神野・福田地区の自主防災組織とともに、第1回地域総合防災訓練を本校で開催する。(以後毎年開催する。)
平成20年11月27日	「協働学習」「コミュニケーショントレーニング」の実践をテーマとする自主研究発表会を開催する。講師;遠藤瑛子氏(21・22・23年度も開催)
平成24年11月16日	「ことばの力向上」の実践をテーマとする自主研究発表会を開催する。講師;杉江修治氏 (以後、27年度まで毎年開催、講師;遠藤瑛子氏)
平成29年4月1日	長谷毛原中学校を統合する。
平成30年9月6日	台風21号の被害で停電・断水のため臨時休業とする。国道370号不通のため毛原地区の生徒は5～7日を自宅学習とする。
令和元年5月28日	第1回美里中学校区学校運営協議会発足
令和2年3月2日	新型コロナウイルス感染症対策のため政府要請により臨時休業となる。(～24日)
令和2年4月8日	新型コロナウイルス感染症対策のため入学生5名と保護者、教職員で入学式を挙げる。
令和2年4月9日	政府要請により臨時休業継続となる。(～5月31日)
令和2年5月12日	オンライン会議システムを利用して、在宅中の生徒がタブレット端末による授業を開始する。
令和2年6月1日	生徒の登校が再開する。6月5日までは午前中のみ、6月12日までは5限までの授業とする。
令和2年8月1・2日	海草地方中学校総合体育大会の代替大会が開催され生徒が出場する。(県大会以上の開催は中止)
令和2年8月7日	1学期終業式(授業時数確保のため夏季休業期間短縮)
令和2年8月17日	2学期始業式(授業時数確保のため夏季休業期間短縮)
令和2年10月12日	本校体育館で、中学校統合に関する教育委員会説明会を開催する。
令和3年7月6-19日	新型コロナウイルス感染症対策のため水泳授業が中止されていたが、野上中学校プールで水泳授業を再開する。
令和3年7月21日	家庭読書「家読」週間を制定する。
令和4年9月21日	紀美野町立学校設置条例の一部改正により、野上中学校・美里中学校を廃校として令和7年4月1日から「紀美野町立紀美野中学校」の設置を町議会で決定する。
令和5年2月3日	美里中学校区学校運営協議会が文部科学大臣賞受賞する。
令和5年2月22日	美里中学校区学校運営協議会を野上中学校区学校運営協議会との合同で開催する。
令和5年6月2日	生徒登校後に大雨洪水警報が発令され、給食を中止して臨時休業とする。真国川氾濫により災害発生するも生徒宅に被害なし。
令和5年12月20日	本町保健福祉課主催「郷土・伝統料理教室」を開催し、1・2年生が調理・試食を体験する。



修学旅行 (昭和58年)



キャンプ (昭和59年)

体育祭 (昭和60年)



体育祭 (昭和61年)



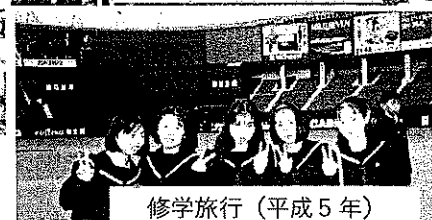
合宿 (平成2年)



ゲートゴルフ体験 (平成4年)



海水浴 (平成6年)



修学旅行 (平成5年)



体育祭 (平成12年)



陸上記録会 (平成13年)



文化祭 (平成15年)



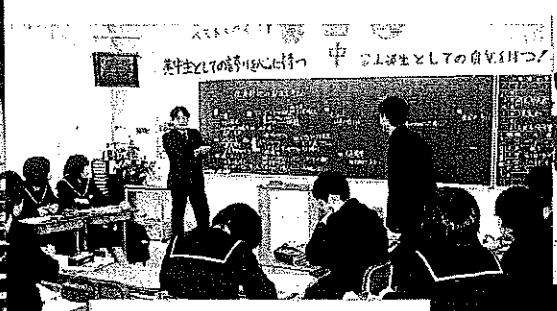
歌声コンクール (平成14年)



生徒総会 (平成17年)



修学旅行 (平成23年)



社会科授業 (平成19年)



体育祭 (平成18年)



体育祭 (平成27年)

茶道教室 (平成21年)





修学旅行（平成26年）

エリック先生(ALT)との送
別会（平成28年）



美中フェスティバル



修学旅行（令和3年）



修学旅行（令和2年）



修学旅行（令和5年）



3年生
（平成31年・令和元年）

美里中学校歴代管理職・育友会長

■ 歴代校長

敬称略

① 堀田 夢務呂 (昭和58・59年度)	⑨ 高岡 成豪 (平成20～23年度)
② 松尾 好司 (昭和60～63年度)	⑩ 大西 孝亮 (平成24～26年度)
③ 小川 佳麿呂 (平成元～2年度)	⑪ 中屋 多加志 (平成27年度)
④ 南方 好治 (平成3～4年度)	⑫ 前田 耕平 (平成28年度)
⑤ 竹内 宏行 (平成5～7年度)	⑬ 中家 覚 (平成29年度)
⑥ 東浦 啓祐 (平成8～9年度)	⑭ 鳶村 敏樹 (平成30～令和2年度)
⑦ 濃崎 泰彦 (平成10～14年度)	⑮ 尾崎 弘和 (令和3年度)
⑧ 中西 康裕 (平成15～19年度)	⑯ 喜多 智英 (令和4～6年度)

■ 歴代教頭

敬称略

① 沢 忠夫 (昭和58年度)	⑨ 山下 育作 (平成18～20年度)
② 山本 正司 (昭和59～62年度)	⑩ 野田 泰生 (平成21・22年度)
③ 東浦 啓祐 (昭和63年度)	⑪ 小坂 佳子 (平成23～27年度)
④ 平田 仁美 (平成元～3年度)	⑫ 藪根 一仁 (平成28～令和元年度)
⑤ 中南 敏孝 (平成4～10年度)	⑬ 久保 雅秀 (令和2・3年度)
⑥ 妻木 康彰 (平成11・12年度)	⑭ 安田 雄一 (令和4・5年度)
⑦ 野崎 和男 (平成13～15年度)	※ 不在 (令和6年度)
⑧ 小谷 雅之 (平成16～17年度)	

■ 歴代育友会長

敬称略

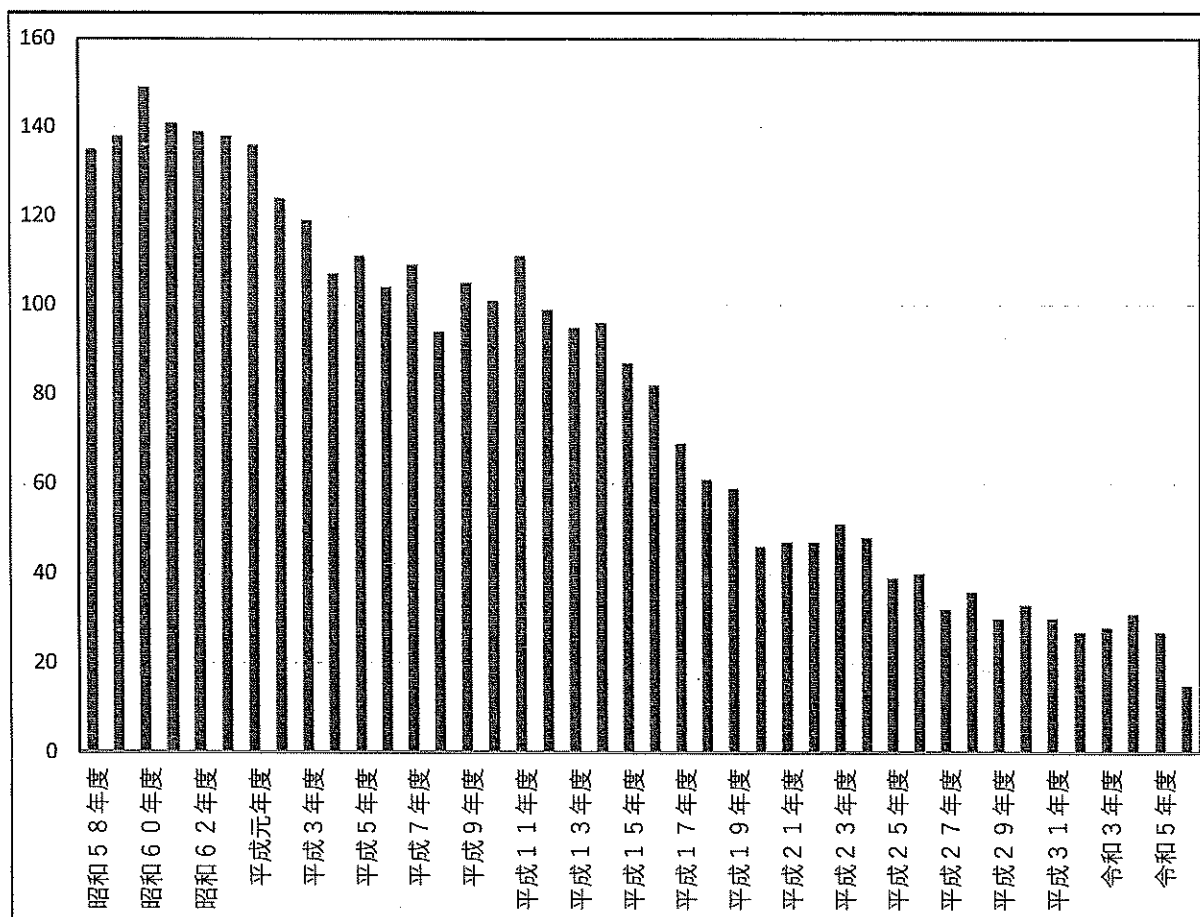
① 尾初瀬 恭生 (昭和58・59年度)	⑪ 堀口 眞慶 (平成20年度)
② 折口 左近 (昭和60～63年度)	⑫ 北端 利章 (平成21年度)
③ 三浦 修身 (平成元年度)	⑬ 寺本 真弓 (平成22年度)
④ 東平 正司 (平成2年度)	⑭ 西田 小百合 (平成23年度)
⑤ 前畔 雅雄 (平成3・4年度)	⑮ 東芝 博昭 (平成24年度)
⑥ 植村 泰和 (平成5～7年度)	⑯ 中前 貴康 (平成25年度)
⑦ 西島 裕章 (平成8年度)	⑰ 油谷 正之 (平成26年度)
⑧ 西浦 史雄 (平成9～10年度)	⑱ 松本 守信 (平成27～29年度)
⑨ 瀧本 達弥 (平成11年度)	⑲ 古岩 秀章 (平成30年度)
⑩ 古梅 恭好 (平成12年度)	⑳ 芝滝 竜介 (令和元年度)
⑪ 梶谷 幸司 (平成13年度)	㉑ 折口 功次 (令和2年度)
⑫ 古梅 恭好 (平成14年度)	㉒ 鞍 雄介 (令和3年度)
⑬ 岡本 好司 (平成15年度)	㉓ 又野 寛 (令和4年度)
⑭ 大野 太示 (平成16年度)	㉔ 中西 敏揮 (令和5年度)
⑮ 井岡 成容 (平成17年度)	㉕ 林 公彦 (令和6年度)
⑯ 松本 守信 (平成18・19年度)	

美里中学校生徒数の変遷

年度	生徒数
昭和58年度	135
昭和59年度	138
昭和60年度	149
昭和61年度	141
昭和62年度	139
昭和63年度	138
平成元年度	136
平成2年度	124
平成3年度	119
平成4年度	107
平成5年度	111
平成6年度	104
平成7年度	109
平成8年度	94
平成9年度	105

年度	生徒数
平成10年度	101
平成11年度	111
平成12年度	99
平成13年度	95
平成14年度	96
平成15年度	87
平成16年度	82
平成17年度	69
平成18年度	61
平成19年度	59
平成20年度	46
平成21年度	47
平成22年度	47
平成23年度	47
平成24年度	47

年度	生徒数
平成23年度	51
平成24年度	48
平成25年度	39
平成26年度	40
平成27年度	32
平成28年度	36
平成29年度	30
平成30年度	33
令和元年度	30
令和2年度	27
令和3年度	28
令和4年度	31
令和5年度	27
令和6年度	16



【寄稿編】

「野上中学校・美里中学校の閉校式にあたり」

紀美野町長 小川 裕康

紀美野町立野上中学校・美里中学校は、令和7年3月31日を以って、これまでの永年にわたる伝統ある輝かしい歴史に幕を閉じることになりました。開校以来、野上中学校は67年、美里中学校は42年にわたり、両校とも常に高い理想と使命感を持って、次の時代を担う子ども達の育成に当たってこれしました。これまでに大勢の子ども達が両校から巣立ち、社会の様々な分野において立派に活躍されています。



野上中学校は、昭和30年の町村合併により誕生した野上町の町立統合中学校として、昭和33年に現在の場所に誕生しました。また、美里中学校は、同年の町村合併により誕生した美里町の町立神野中学校として改名して新たにスタートしました。その後、昭和58年に不動中学校と統合し美里中学校が誕生しました。さらに、昭和60年に国吉中学校と、平成29年に長谷毛原中学校とそれぞれ統合し、現在に至ったものであります。

両校それぞれの栄えある足跡が残されているのは、卒業生や子ども達を温かく見守っていただいていた地域の皆様方や保護者の皆様方の多大なるご支援と、学校教育の充実に向けて熱心に御指導いただいた歴代の校長先生をはじめとした諸先生方のご指導によるものであります。永年にわたる関係各位の献身的なご努力に対し、心から敬意を表する次第であります。

令和7年4月1日に紀美野中学校が新たにスタートすることとなりますが、統合準備委員会において協議に協議を重ねてまいりました。野上中学校と美里中学校は閉校いたしますが、今日まで積み重ねてこられた伝統は、紀美野町の歴史とともにこれからも後進の方々に絶えることなく引き継がれていくものと確信しております。そして、紀美野町唯一つの中学校として紀美野町の未来を担っていただく子どもたちが元気で健やかに成長されることを期待しております。

結びに、今日まで永年にわたり両校に関わる全ての皆様方に厚く感謝申し上げますとともに、紀美野中学校となりましても、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます、野上中学校・美里中学校閉校にあたってのご挨拶といたします。

「野上中学校・美里中学校の閉校に当たって」

紀美野町教育委員会教育長 東中 啓吉

「仰ぐ生石の山なみに」で始まる野上中学校校歌は、昭和34年3月に、初代校長である吉田敏先生によって作詞され、開校から1年後に制定されています。昭和30年の町村合併により野上町が発足。昭和33年3月29日に新校舎が完成し、東野上中学校、小川中学校、不動中学校（志賀野地区の生徒のみ転出）の3校統合により、新設中学校「野上中学校」が開校しました。



「ひんがしの空明けそめて」で始まる美里中学校校歌は、昭和58年4月に不動中学校との統合で、神野中学校から美里中学校になる以前から歌われていました。この校歌も吉田敏先生が作詞されています。神野中学校は、上神野村、下神野村両村組合立の中学校として、昭和23年4月に開校し、この校歌は翌年の昭和24年に制定されました。

両中学校とも統合を経験し、現在の姿になっています。開校当時は、今の何倍もの生徒数を抱え、戦後の高度経済成長と共に多くの優秀な人材を輩出してきました。

令和7年4月1日に、両校の統合により新たに「紀美野中学校」が開校します。多くの卒業生や地域の皆様方には、母校の名前がなくなること、特に美里中学校は校舎も移転することになり、寂しさを禁じ得ないことと思います。

しかし、母校の名前が消えるとも、心の中に刻まれている校歌、友達や先生と共に過ごした思い出、母校に対する愛着は、それぞれの心の中に生き続け、心のよりどころ、心の支えとなることと信じています。そして、その思い出や学校の歴史は、紀美野中学校に受け継がれていくのです。

私は6年間紀美野町の教育行政に携りましたが、その間、両校の教職員が一丸となって取り組み、特色を生かした教育実践により、生徒が大きく成長する様子を目の当たりにしてきました。その実践を支えていただいたPTA、学校運営協議会、地域、関係者の皆様方に心から感謝申し上げるとともに、紀美野中学校にもその熱意と情熱が継承され、郷土に誇りと愛着をもった生徒が育つことを願っています。

最後になりますが、これまで両校に多大なご支援・ご協力をいただいた皆様方のご健勝ご多幸をご祈念申し上げ、あいさついたします。

「野上中学校閉校、そしてその先へ」

紀美野町立野上中学校長 尾崎 弘和

昭和33年4月1日に開校した野上中学校は、67年間で7700名を超える卒業生を送り出してきました。東野上中学校、小川中学校、不動中学校（志賀野地区）3校の統合を象徴した校章、武者小路実篤氏の揮毫による校訓「和而不同」、初代校長吉田敏氏作詞の校歌をはじめ、残されている貴重な資料を見ていると、開校当時から本校に関わってこられた方々の熱い思いが伝わってきます。



縁あって私は、野上中学校最後の3年間を校長として勤務することになりました。近年は来校された方々との間で閉校の話題が多く、中でも1期生の方から開校当時の様子をお聞きすることもできました。地域の方々が本校を大切に支えてこられた思いに応えること、校歌にある「輝ける若きわれらの母校」であり続けること、私自身その責任の重さを改めて重く感じる機会となりました。

コロナ禍を乗り越え、学校行事等も本来の教育活動が戻ってきました。ICTの活用を含めた個別最適な学びと協働的な学びの充実、生徒会・専門委員会活動の充実、生徒たちが主体となって取組む部活動を通して、生徒たちの成長を実感することができています。まさに中学生というのは、「新たな出会い」と「挑戦」の時期です。

しかし、それは思春期の入り口であり、友達との関係・親との関わり・進路への不安・それぞれに持つ理想に悩みます。多感な時期を過ごす生徒たちに関わる大人は、生徒たちの無限の可能性を引き出し、充実した学校生活を送れるように生徒たちの声に耳を傾け、温かな眼差しで見守り続けていくことが大切です。

新設校開校を中学生として迎える生徒たちが、「野上中学校の伝統」と「美里中学校の伝統」を受け継ぎ、新たな伝統を創り上げていくことを応援していきたいと思います。

長い間本校を支え、温かい眼差しをお送りいただいた地域の方々、学校との連携を密にしてご尽力いただいた歴代の育友会役員の方々、本校教育の充実・発展に向けてご指導いただいた歴代の教職員の方々、そして本校に関わるすべての方々に心より感謝を申し上げます。

これからも、紀美野中学校の教育推進について、ご理解・ご協力いただきたくよろしくお願い申し上げます。

「美里中学校の軌跡と感謝」

紀美野町立美里中学校長 喜多 智英

両校の閉校にあたり発行されたこの記念誌は、学校の歴史と共に築いてきた思い出と感謝を称えるために綴られたものです。この歴史ある美里中学校は、四十二年間にわたり約千人以上の生徒達を送り出すと共に、単なる建物や施設ではなく、生徒や教職員、地域社会との絆の証としてとても大切な存在となっていました。



昭和58年4月に神野中学校と不動中学校が統合して本校が開校しました。その後昭和60年には国吉中学校が、更に平成29年に長谷毛原中学校が統合されました。

本校では、平成7年「みさと天文台」の開設に伴い、全国に先駆けてネット通信が開通されました。地域内外のボランティアを募って校内のLAN工事が行われ、最先端の情報教育実践を全国に発信しました。また、現在も続いている「ことばの力の向上」「協同学習」「コミュニケーショントレーニング」の実践や地域総合防災訓練などは本校の歴史として刻まれています。

これらの背景には、本地域に根付いた明るく素直で豊かな感性を持った生徒達、献身的で協力的な保護者の皆様、そして地域の方々の温いご支援があり、本校に携わる一人一人によって創り上げられてきた郷土文化があったからだと考えられます。

教室での学び、学校行事や部活動での笑顔と汗と涙。それぞれの瞬間が、卒業生の心に深く刻まれていることでしょう。本校で過ごした日々は、人生においてとても有意義な経験となっているはずです。また、歴代の先生方の指導は、生徒の成長を促し、仲間との絆や協力の心を育み、困難に立ち向かう力を培い、人生を築くための重要な一部となったことと思います。

美里中学校は時代の変化に対応しつつ、古きを尊びながら新しいものを生み出し、伝統を受け継ぎ今に至ります。永遠に私たちの心に残る思い出と共に、美里中学校は閉校いたします。

これまで、美里中学校に携わっていただいた多くの皆様の今後のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。

「思い出は永遠に、未来への希望を胸に」

令和6年度野上中学校育友会長 清水 幹雄

野上中学校最後の年に育友会長という大役をお引き受けすることになりました。自分に何ができるだろうと不安もありましたが、皆様のご支援とご協力のおかげで、無事に今日を迎えられましたことを心から感謝しております。

私自身も野上中学校の卒業生であり、ここで過ごした青春の日々は今でも鮮明に思い出されます。友人たちと共に学び、笑い合い、時には涙を流した日々は、私たちの人生の宝物であり、野上中学校で培った知識や経験は、未来を切り拓く大きな力となっています。今まで関わっていただいた先生、保護者、そして地域の皆様の温かい支えや眼差しがあったからこそ、私たちは成長し、未来へと羽ばたくことができました。

閉校は名残惜しく、寂しいことではありますが、私たちの青春の舞台であった野上中学校は、これからも私たちの心の中で輝き続け、未来に向けて、新たな一步を踏み出してくれることでしょう。

最後に、野上中学校に関わったすべての方々に感謝の意を表し、これからの皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



「縁でつながり人をつむぐ」

令和6年度美里中学校育友会長 林 公彦

紀美野町立美里中学校最後の育友会長として、たくさんの方々に支えていただき心より感謝申し上げます。お陰様で、最後の卒業生・在校生の保護者の一人として、子どもの成長に寄り添い笑い合ったことや悲しんだこと、時には喧嘩したことなど多くの経験を重ねることができました。



連なる山々、水清く、豊かな自然、人情も細やかな地域に住む子どもたちは、豊かな感性と人を思いやる心を育てています。美しい自然と家庭や地域の皆様が、子どもたちの健やかな成長を見守り願っていただいているという熱い想いが、子どもたちにも伝わり、人として豊かな心を培ってきたものと思います。

美里中学校は閉校になっても、地域の方々や卒業生、さらに令和7年度より新しく歴史をきざむ紀美野中学校の生徒にも、その良さ・伝統・想いは絶えることなく進化を続け、つむがれていくものと確信しております。

終わりにになりましたが、歴代の育友会の皆様、教職員の皆さまをはじめ子どもたちの安全安心をこれまで見守り続けてくださった地域の皆様に対し、厚くお礼を申し上げるとともに、今日までの温かいお気持ちを紀美野中学校の子どもたちにもお寄せいただくことをお願い申し上げます。

「野上中学校閉校、そして紀美野中学校開校について思うこと」

令和6年度野上中学校生徒会長 清水 晴生

野上中学校閉校と紀美野中学校の開校について、いくつか思うことがあります。

まず、先輩方や私たちの思い出が詰まった野上中学校が閉校と聞いたときには、寂しい気持ちでいっぱいでした。また、野上中学校の名前がなくなることで、地域の繋がりも薄れてしまうのではと心配になりました。



しかし、町内で唯一の中学校となる紀美野中学校の開校は、多くの仲間と交流が生まれ、さらに地域の方々にも関わってもらいやすくなり、これまで以上に充実した学びと経験ができ、様々な面でたくさん成長させてくれると確信しています。

そして、これから紀美野中学校の生徒になる後輩の皆さんは不安も多いと思いますが、野上・美里両中学校の伝統を受け継いでくれることを期待しています。私は野上中学校最後の卒業生として、残された日々を充実させ、バトンを渡したいと思います。

このように、閉校と開校にはそれぞれの側面がありますが、私たち生徒一人ひとりが前向きな気持ちで新しい一歩を踏み出すことが大切です。

これからも仲間と共に、学びと成長の場を大事にしていきたいと思います。

「みんなで繋ぐ美里中学校」

令和6年度美里中学校生徒会長 鞍 結姫乃

美里中学校は、42年の歴史に幕を下ろします。

私達が中学校に入学する前、美里中学校が野上中学校と統合すると知らされました。一人一人が、どちらの中学校に進学するかを決め、私は今日までこの仲間と共に過ごしてきました。



「生徒人数が少ないため、例年できていたことができないのではないかな。」という懸念がありました。しかし、地域総合防災訓練や体育祭、美中フェスティバルなど人数が少ないからこそ、一人一人の役割が多くなり、地域の人と触れ合うことで、地域の温かさを知ることができました。さらに、友達や先輩、先生方、保護者の方がたくさん支えてくれて、今までにない行事を企画し、新しいことにチャレンジすることができました。企画している中で、大変なことがありましたが、支えてくれた方々には本当に感謝しています。

最後の生徒は16名ですが、1・2年生は美里中学校の歴史や伝統を紀美野中学校に繋いでほしいです。今まで、友達と笑いあったり、ふざけあったり、喧嘩したりした思い出と共に閉校となることはとても寂しいです。しかし、私は本当に美里中学校に通えて良かった。最後の美中生であることを誇りに思っています。

「思い出多き野上中学校」

野上中学校区学校運営協議会長 山下 育作

野上中学校区学校運営協議会が発足したのは平成30年で、私は当時から委員として関わらせていただきました。会長の岩橋成充先生は、私が野上中学校の生徒時代の恩師であり、また部活動でも大変お世話になった先生でした。中学生の頃は、勉強よりも学校行事や部活動が楽しく、学校で宿泊した体験が一番印象に残っています。その岩橋先生から令和3年度に会長を受け継ぎ現在に至っています。



この運営協議会の取組としては「子供たちにとって魅力ある活動」が求められています。それを支えるのが教職員・保護者・地域となります。この3者の連携が不可欠であり、「地域とともにある学校」を創っていくにはどのようにすれば良いのかを常に考え・協力していくかが大切だと思っています。

私は、教職員としても退職まで勤めさせていただきましたが、今の生徒達に「楽しい体験」や「学校が楽しい」と思えるような機会をいかに経験できるかが運営協議会の役割だと思っています。紀美野中学校として、町に一つの新しい中学校を今後とも皆様方のご協力をお願いいたします。

結びに、今日まで永年にわたり本校の発展にご尽力いただきました多くの方々に心から厚く御礼を申し上げます。有り難うございました。

「美里中学校閉校にあたって」

美里中学校区学校運営協議会長 松本 守信

私が美里中学校(当時は神野中学校)に在学していた当時、へき地教育に関する大会が開催され、多くの先生方が全国から参観に來られました。私たちのクラスが参観して頂いた授業は「音楽」でした。何度も練習を重ねて臨んだ当日、歌い出しの第一声は、今までの練習では出たこともないような力強いものでした。当事者の私たち自身が一番驚きましたし、その瞬間の音楽の先生の驚いた表情は忘れられないものでした。



それから長い年月が経ち、美里中学校には保護者として、また育友会長として、さらには学校運営協議会会長として関わらせて頂く中で、特にこの十年余りは防災訓練に力を入れて参りました。「中学生は本番になるとそれまで見せなかった力を発揮する」ことを強調し続け、中学校と地域との関わりを深めることが、地域の防災力強化に役立つという効果があったと感じております。期待通りに美里中学校の生徒は防災訓練の本番で臨機応変の活躍を見せてくれました。

この原稿を考えている時に、忘れていた自分自身の記憶がよみがえったのが冒頭に記した自分自身の経験でした。閉校に当たり、私の一つの経験を紹介させて頂きました。美里中学校を皆様の御記憶に留めて頂けましたら幸いです。

「いま、想うこと。」

神野中学校 昭和55年度卒業生 曾和 里佳(旧姓 小壺)

本記念誌寄稿の機会をいただきありがとうございます。

「ひんがしの空明けそめて 自由の鐘はなりひびく〜♪」

初めてこの校歌を聞いた時、何とハイカラなかつこい校歌だと感じたことを思い出しました。それと同時に、歌詞を見ただけで今でも間違わず歌えたことにびっくりでした。

私が通っていた頃は、神野中学校以外に町内には3中学校がありました。母校の後を受け継いだ美里中学校が野上中学校と統合して、町内で一中学校になることにも驚かされると共に、それだけ過疎化が進んでいることの寂しさも感じました。

三年間通った学舎には、楽しかった事、嬉しかった事、悔しかった事、しんどかった事など多くの思い出があります。一番に思い出すのは、片道約5キロある毎日の自転車通学です。しかも平坦ではなく坂道ありの5キロなので、途中で自転車を降りて押して歩きます。朝は40分ほどですが、帰りは1時間以上かかります。

小学校卒業時にはタイヤの大きい通学用自転車を買ってもらい、みんなで自然社(高野町花坂)まで練習に行ったことを思い出します。今思えば、三年間で培った体力と精神力でこれまで過ごせました。神野中学校に、この町に育てていただいたことに感謝しています。

「小中学生時代を振り返り思うこと」

不動中学校 昭和38年度卒業生 浦 晴雄

私は上真国の初生谷に生まれました。小学校4年生までは真国小学校花野原分校で、5・6年は真国丹生神社境内の本校で同級生30名と学び、その後は志賀野と真国の境にある不動中学校へ進みました。1クラス47名もの人数でした。

2年の頃に真国宮に移転となり、机や椅子をみんなで運びました。また、不動中学校には他校にはない音楽部があり、バイオリンやチェロの弦楽器で「ドナウ川のさざ波」などのクラシック音楽を演奏したこと、スリッパをラケット代わりにして昼休みに卓球をしたことが思い出されます。学校外での遊びは、川での魚とり、山での山菜や松茸とりで、このような環境を通して自立心や忍耐力が培われ、高校、大学、社会人への成長に繋がったものと思います。

今では、恩師である小川佳麿先生をお招きして同窓会を3年に1度行っています。ほとんどが出席し、中学校時代の思い出話に花を咲かせ、最後には懐かしい校歌を歌って楽しいひと時を過ごしております。現在の少子化、過疎化は、私たち団塊の世代の幼少期とは隔世の感がありますが、これからの子どもたちには、のどかな自然の中で自由にのびのびと成長し、社会に貢献できる人になっていただくことを祈念しております。



「国吉中学校を偲んで」

国吉中学校昭和56年度卒業生 小川 優子(旧姓 東浦)

今から45年前、国吉中学校に入学した時のクラブ活動はソフトテニス部しかありませんでした。朝や放課後遅くまで練習したことを思い出します。中学校でソフトテニスに没入、それが大学卒業まで、そして教職に就いてからも続けてきました。



中学校での思い出は、クラブ活動で数々の大会に出させてもらい優勝をしたこと、先生に厳しく指導されたこと、通学がとても遠かったことなどです。友達と喧嘩したり仲良くなったり、田舎の子でありながらも中学校生活をそれなりに楽しんでいただいているように思います。

現在は神戸市内の小学校で校長をしております。神戸市内でも学校統合が進んでいます。校長1年目に学校閉校に携わり2年目には統合校の初代校長となりました。統合することで母校がなくなります。私の母校もありますが、その歴史は国吉中学校、美里中学校、そして紀美野中学校へと引き継がれていきます。

開校される学校は、これまでの多数の卒業生や地域の方々、保護者の皆様の思いと願い、夢と希望がつまっている学校になることは間違いありません。時の流れ、人の流れを感じながら令和を生きる子供たちの健やかな成長を願い、国吉中学校を偲びつつ紀美野中学校の開校をお祝いしたいと思います。母校がないことは寂しいことですが、私の母校「国吉中学校」はいつまでも私の心の中で生き続けます。

「得難い経験」

長谷毛原中学校 昭和24年度卒業生 森下 誠

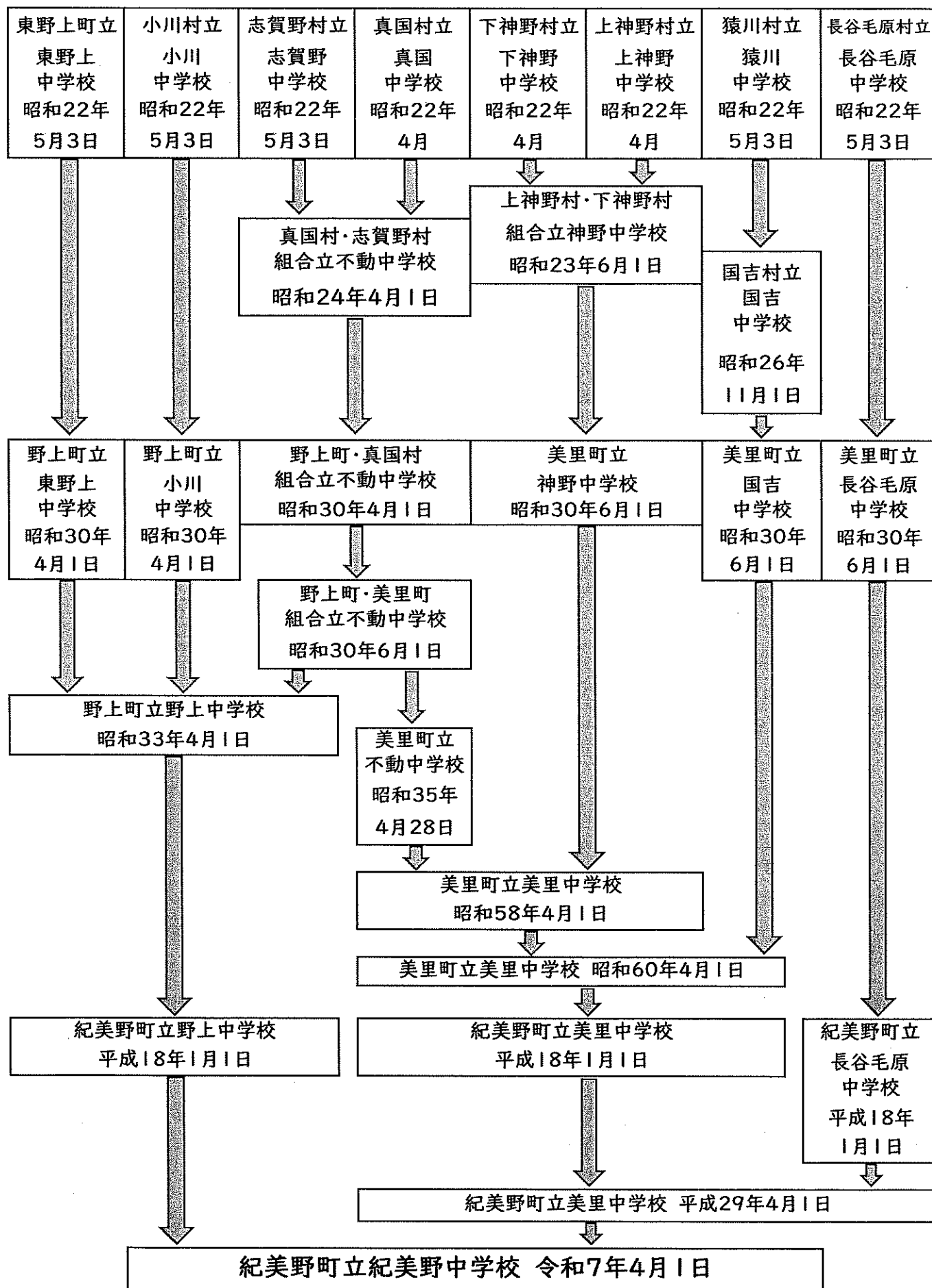
板張りの床に、机代わりのそうめん箱、これが私の中学一年生入学時の教室でした。この年に新制中学校が発足し、義務教育が九年間となりましたが、教室が足りず、閉校した毛原小学校の仮校舎でした。先生も不足していました。理由は経済状況です。終戦から一年余り、物不足で強烈なインフレ、街の人は晴れ着などを食料と交換するため農村へ出かけ、都会では少年が幼稚園児を狙う「弁当強盗」が頻発したようです。



毛原では材木も棕櫚皮も急騰し、山仕事三日で一月分の給料が稼げた頃です。月給取りは生業とならず、高学歴の人材も斧を腰に山に入るといふ世情でした。小学校長で退職された先輩は、山中で炭焼きをしている現場に村役場の関係者が来て教員不足の窮状を訴えられたので、炭窯に今やと詰め終わった原木が焼きあがるまで待ってくれたらという条件で、やむなく説得に応じたとのことでした。

さて、授業が始まったものの黒板はあるがチョークがありません。先生が七輪のかけらで黒板に字を書くと濡れ雑巾で拭かないと消えません。ほんの少し前まで「一億総特攻」だった教育目標が「民主国家建設」に豹変したので、先生方も大変なようで、落ち着いた授業の記憶はありませんが、「生き残れる喜び」の前では、そんなことは全く問題ではなく、今思えば「得難い経験」でした。

新制中学校発足以降の統合



東野上町立東野上中学校（昭和22～32年度）

■ 歴代校長

敬称略

- ① 松下 行夫（昭和22～24年度）
② 田尻 直嗣（昭和25・26年度）

- ③ 岡井 功（昭和27～31年度）
④ 吉田 敏（昭和32年度）

■ 歴代教頭

敬称略

- ① 伊東 信男（昭和22～24年度）
② 北川 末之（昭和24年度）

- ③ 森 栄俊（昭和25～32年度）

小川村立小川中学校（昭和22～32年度）

■ 歴代校長

敬称略

- ① 田和 正一（昭和22～24年度）
② 坂垣内義治（昭和25年度）

- ③ 中原 幸夫（昭和26～ 年度）

■ 歴代教頭

敬称略

- ① 不詳（昭和22年度～）

- ② 尾絵（昭和24年度～）※名・以降不詳

■ 歴代育友会長

敬称略

- ① 西井 亀一（昭和22～24年度）
② 西原 正己（昭和25・26年度）
③ 西浦 清一（昭和27・28年度）

- ④ 坂垣内重太郎（昭和29年度）
⑤ 永野 諭（昭和30年度）
⑥ 小川 五十鈴（昭和31・32年度）

志賀野村立志賀野・真国中学校（昭和22・23年度）

昭和22年5月3日 志賀野村立志賀野中学校開校 ※志賀野小学校沿革史より

志賀野中学校は西野の西方寺を仮教室として授業を開始したが、昭和23年4月に志賀野村・真国村組合立不動中学校を設立し、村境である東野へ校舎を新築した。

■ 歴代校長

敬称略

- ① 記田 晋（昭和22年度）

教頭 ※ 不詳

上神野村立上神野中学校 （昭和22年度）

下神野村立下神野中学校 （昭和22年度）

■ 校長・教頭 敬称略

校長 不詳

教頭 浦久保 章三

校長・教頭 不詳



昭和22年度 第一回卒業生

東野上中学校沿革（1947年5月～1957年3月）

昭和22年5月3日	新憲法実施記念日にあたり東野上町立東野上中学校開校式を挙行する。校舎は、元の野上実践女学校跡を使用する。
昭和22年10月19日	第1回体育大会を小学校運動場にて開催する。
昭和22年12月8日	実験学校研究会を開催する。
昭和23年2月6日	運動場西側の垣根用ツゲを全校生徒・教職員が黒沢山町有林で採取する。
昭和23年3月24日	第1回卒業式を挙行する。
昭和23年4月20日	校地内の本町役場が元の場所に移転し、2教室を増設する。
昭和23年5月5日	旧制中等学校で高等学校に昇格した併設3年生が出身学校に復帰となり、50名を編入する。
昭和24年1月	小中学校共用運動場として約三段歩に拡張された ※小川小学校沿革史より
昭和24年1月13日	校地内の野上厚生病院が移転し、理科室・家庭科室を設置する。
昭和24年1月17日	学級改編（1年生4学級、2年生3学級、3年生2学級） 校訓「和」を制定する。
昭和24年3月9日	新築校舎建設の決定により、全校生徒・教職員が土曜日の午後に、また、他の曜日は各学級交代で、コンクリート用砂利運搬を行う。
昭和24年3月17日	砂利運搬が生徒の努力にもかかわらず予定量に達しないため、青年団が後輩のため、町のために作業に加わる。
昭和24年8月26日	校舎竣工により、正規の学級編成に再編する。
昭和24年8月30日	本館校舎（西側）が完成し、落成式を挙行する。午後祝賀会を開催する。
昭和25年3月11日	卒業生が校舎前に記念植樹を行う。
昭和28年7月18日	台風の被害により、校舎等全中損壊する。生徒宅は、家屋流失4、床上浸水14、床下浸水22の被害を受ける。
昭和31年1月20日	小中学校合同運動場の整地工事が完了する。
昭和31年4月1日	東野上町が志賀野村を合併する。
昭和31年5月1日	東野上町と小川村が合併して野上町と称する。校名を野上町立東野上中学校と改称する。
昭和32年1月18日	下佐々地区に総合中学校の建設が始まる。
昭和33年3月31日	新設総合中学校である野上中学校に統合される。

東野上中学校校歌 作詞・作曲 不詳

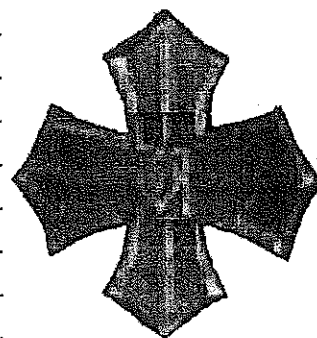
- 1 緑色濃き 山脈に 希望の光 輝きて
清き流れの 野上川 若き命を 湛うなり
あゝ うるわしの わが東中
- 2 自由の鐘が 高なりて 平和の光 うらなり
自律の旗を ふりかざし 共に求めん 眞の理
あゝ うるわしの わが東中
- 3 熱よ誠よ 一すじに 心を生かし 身を生かし
互に助け いたわりて 共に築かん 文化郷
あゝ 頼もしき わが東中



昭和30年頃の様子

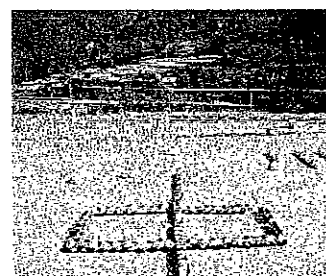
小川中学校沿革（1947年5月～1957年3月）

昭和22年5月3日	新憲法実施記念日にあたり開校式を挙げる。引き続き授業を開始する。 小川小学校講堂を板がこいで3分し、横の教室を合わせて4学級編成とする。職員室は小学校裁縫教室を使用する。
昭和22年10月18日	小学校と合同で第1回運動会を実施する。
昭和23年2月24日	小学校と合同で学芸会を実施する。
昭和23年3月23日	第1回卒業式を挙げる。（卒業生18名）
昭和24年3月25日	3教室竣工
昭和24年6月30日	2階造り2教室完成
昭和24年10月17日	校舎新築落成記念行事を挙げる。
昭和25年2月10日	校歌が完成し、学芸会で披露する。
昭和28年3月15日	卒業生が校庭に記念植樹を行う。
昭和28年8月14日	同窓会結成（初代会長 小谷 晋氏）
昭和29年5月1日	東野上町と小川村が合併して野上町となる。それに伴い、校名を野上町立小川中学校と改称する。
昭和29年 12月27-28日	第1回文化祭を実施する。
昭和31年5月4日	卒業生が校舎前に記念植樹を行う。
昭和31年10月18日	保育所と合同で体育祭を開催する。
昭和32年3月24日	閉校式を挙げる。
昭和33年3月31日	新設統合中学校である野上中学校に統合される。



小川中学校校歌 作詞・作曲 不詳

- あさ雲 なびく 生石山 学びの窓に 仰ぎ見て
延び行く 生命 はつらつと 三年の春を 励み行く
小川中学 希望あれ
- 香りも 高き 梅本の 流れに清く 身を洗い
自知に うるわし 眉あげて 夢おおらかに 育ち行く
小川中学 使命あれ
- 里に 平和の 夜があけて 緑の風の わたるとこ
正しく 強く 手を取りて 明日の力を 築き行く
小川中学 栄えあれ



昭和26年度運動会



昭和25年度野球部員



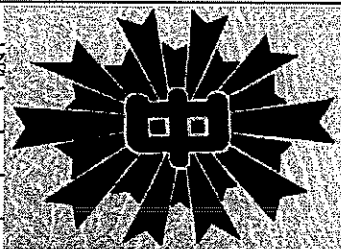
昭和24年に新築された校舎

神野中学校沿革（1948年4月～1983年3月）

昭和23年1月27日	上神野村・下神野村両村に対して、県より組合立による中学校創設が許可される。
昭和23年4月1日	上神野村・下神野村神野中学校設立
昭和23年4月12日	両村中学校の校舎を使用して授業を開始する。
昭和23年6月1日	上神野村・下神野村組合立神野中学校開校
昭和25年5月1日	校訓「和」を制定する。
昭和26年2月9日	育友会が半額負担してピアノを購入する。
昭和28年11月	読売科学賞最優秀賞（県）を受賞する。 （昭和44年度まで連続受賞）
昭和28年12月7日	ユニセフミルク給食開始
昭和30年6月1日	美里町立神野中学校に校名変更。
昭和31年1月14日	講堂落成
昭和32年11月3日	校門完成（講堂前石垣）
昭和33年1月2日	創立10周年を記念して同窓会を結成する。
昭和33年3月18日	創立10周年記念式、兼4教室増築の落成式を挙げる。 卒業生の寄贈により洗面所・足洗い場が新校舎前に完成する。
昭和35年9月13日	育友会員並びに一般の寄付金により、高・低鉄棒、及びテニス・バレーボールネット支柱が完成する。
昭和36年9月16日	第二室戸台風による被害（校舎・講堂の天井一部損壊、渡り廊下・自転車置き場・運動場柵倒壊）
昭和36年12月11日	サッカー・バスケットゴールが育友会員の寄付と町費により完成する。
昭和37年7月28-29日	校舎を使用して全校キャンプを実施する。
昭和37年10月7日	創立15周年を記念して、育友会が鉄筋の体育器具倉庫を建設する。また、記念運動会を開催する。
昭和38年1月1日	教職員・全校生徒で元旦祝賀式を挙げる。
昭和39年6月1日	開校記念日を制定する。
昭和40年9月30日	台風23号の影響で自転車置き場倒壊の被害を受ける。
昭和41年4月23日	PTA行事として、簡易保険金徴収手数料を会計に移入することを決定する。
昭和45年6月8日	大阪で開催されている万国博覧会を全校生徒が見学する。
昭和45年8月22日	旧校舎撤去作業を開始する。野中住民により野中地区公民館として移転される。
昭和46年5月10日	新校舎へ移転する。
昭和46年7月1日	校舎並びにプールの竣工式を挙げる、その後祝賀会を開催する。
昭和46年10月21日	生徒が黒潮国体の炬火リレーに参加する。
昭和47年8月21日	大雨により、中庭バレーボールコート北側の土手が崩壊する。
昭和48年7月19日	本館が完成し、竣工式を挙げる。
昭和48年9月25日	運動場整地工事が完了する。
昭和49年1月21日	全学級授業参観の後、育友会臨時総会を開催し、頭髪・制服・自転車通学について協議する。
昭和50年7月16日	外出時服装は制服との規定があったが、生徒会が真剣な討議を経て規定解除の要望をする。学校はこれを認めて規定を解除する。
昭和52年3月4日	全国植樹祭記念として、メタセコイヤ・ウバメガシ・フサアカシアを校内に植樹する。
昭和52年11月9日	第26回全国へき地教育研究会の第10分科会が本校で開催される。教科・学級会活動の授業・生徒発表を公開する。（参加者292名）
昭和54年11月26日	松上栄吾校長が教育功労者文部大臣賞を受賞する。
昭和57年12月2日	1年生が和歌山大学附属養護学校との第1回交流学习を実施する。
昭和58年3月23日	学校統合に伴い閉校式を挙げる。35年にわたる神野中学校としての幕を閉じる。

和

方は和から生まれる。
愛は和によって育まれる。
主権発展の途は、
また和の心で歩む。
和とは平和の心であり、
和合の心である。
私たちは民主主義の理想を
人権主義の真諦を、
教育の源泉を、
あ、らかに和の中に見出す。
自由も和の中に呼吸し、
真理の探求も、
また和の精神に外ならない。
和こそ第一義である。

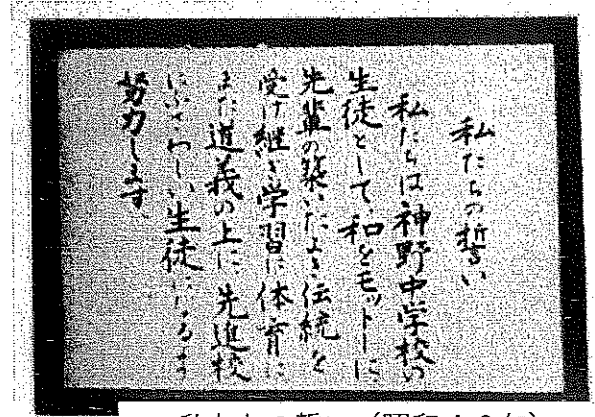


神野中学校校歌

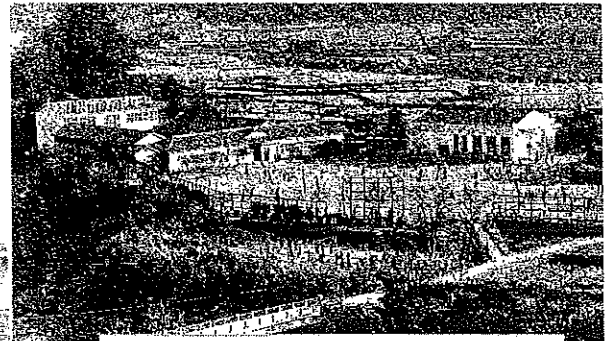
作詞 吉田 敏 作曲 打垣内 正

(昭和24年制定)

- 1 ひんがしの空 明けそめて 自由の鐘は なりひびく
ああ人生の 朝明けに 民主の息吹き 野にみちて
知識の泉 汲みかわす 自治のが学園 われらが母校
- 2 神野の川の 水清く 流れて進む 時の代に
若きわれらが にないたる 使命は重し とともに
はげまし睦ぶ 若人が つどえる学園 われらが母校
- 3 丘のまどいに 三つとせを 真理を求め ひらすらに
高き理想に あこがるる 若き胸の血汐 火ともえて
希望に生くる 友と友 かぐわし学園 われらが母校



私たちの誓い (昭和42年)



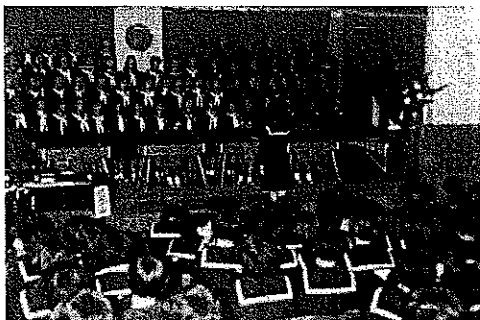
昭和35年の風景



昭和23年度卒業生



修学旅行－横浜港 (昭和29年)



創立20周年式典 (昭和38年)



写生会 (昭和44年度)



キャンプ (昭和53年度)



体育祭 (昭和48年度)



集合合宿
(昭和56年度)



神野中学校歴代管理職・育友会長

■ 歴代校長

敬称略

① 田尻 直嗣 (昭和23・24年度)	⑥ 橋本 常一 (昭和42・43年度)
② 吉田 敏 (昭和25～31年度)	⑦ 角谷 巖 (昭和44～49年度)
③ 橋本 常市 (昭和32～36年度)	⑧ 松上 栄吾 (昭和50～54年度)
④ 前田 忠雄 (昭和37年度)	⑨ 高岡 健三 (昭和55・56年度)
⑤ 西峯 茂夫 (昭和38～41年度)	⑩ 堀田 多務呂 (昭和57年度)

■ 歴代教頭

敬称略

① 大隈 末雄 (昭和23～25年度)	○ 島崎 保雄 (昭和43・44年度)
② 不詳	○ 土井 弘仁 (昭和45～48年度)
	○ 堀田 多務呂 (昭和49～54年度)
○ 寺山 勇作 (昭和35～38年度)	○ 瀬藤 敏弘 (昭和55・56年度)
○ 口井輝一郎 (昭和39～42年度)	○ 柳瀬 昌弘 (昭和57年度)

■ 歴代育友会長

敬称略

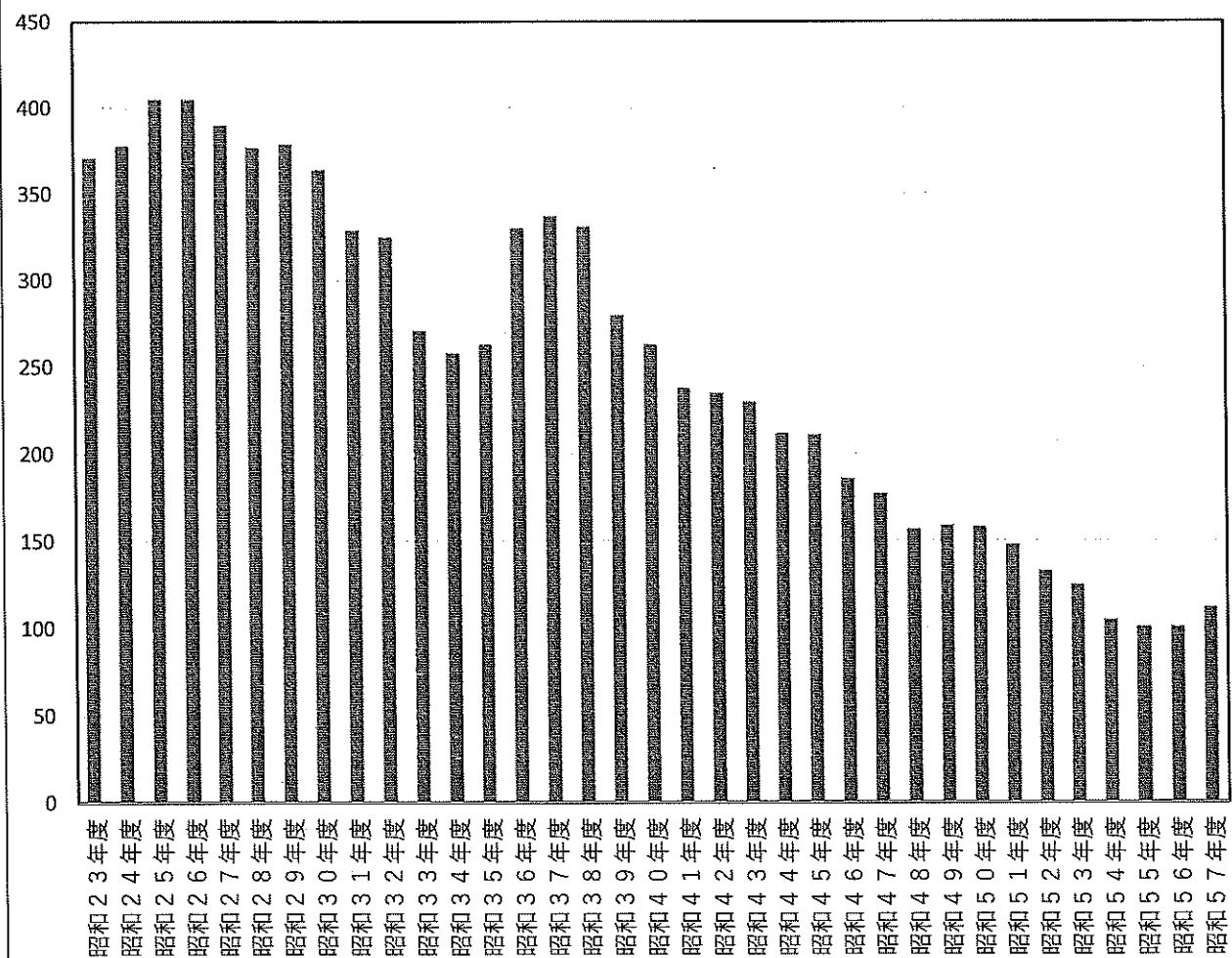
① 小壺 寛男 (昭和25年度)	⑭ 井岡 美秋 (昭和39年度)
② 尾谷 倉之介 (昭和26年度)	⑮ 河野 詮 (昭和40年度)
③ 松本 吾 (昭和27年度)	⑯ 岩本 重 (昭和41年度)
④ 面谷 和夫 (昭和28年度)	⑰ 中島 豊治 (昭和42・43年度)
⑤ 野手 修 (昭和29・30年度)	⑱ 岩本 重 (昭和44年度)
⑥ 今熊 豊 (昭和31年度)	⑲ 市口 定 (昭和45年度)
⑦ 田尻 直嗣 (昭和32年度)	⑳ 西岡 晋 (昭和46年度)
⑧ 前西 清一 (昭和33年度)	㉑ 沼田 康 (昭和47・48年度)
⑨ 堂上 実 (昭和34年度)	㉒ 沼田 幸雄 (昭和49・50年度)
⑩ 横山 敏夫 (昭和35年度)	㉓ 今出 皓宣 (昭和51・52年度)
⑪ 東池 静男 (昭和36年度)	㉔ 向井中 利治 (昭和53年度)
⑫ 井本 隆現 (昭和37年度)	㉕ 尾初瀬 恭生 (昭和54～57年度)
⑬ 古阪 豊 (昭和38年度)	

神野中学校生徒数の変遷

年度	生徒数
昭和23年度	371
昭和24年度	378
昭和25年度	405
昭和26年度	405
昭和27年度	390
昭和28年度	377
昭和29年度	379
昭和30年度	364
昭和31年度	329
昭和32年度	325
昭和33年度	271
昭和34年度	258

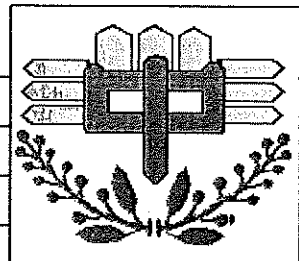
年度	生徒数
昭和35年度	263
昭和36年度	330
昭和37年度	337
昭和38年度	331
昭和39年度	280
昭和40年度	263
昭和41年度	238
昭和42年度	235
昭和43年度	230
昭和44年度	212
昭和45年度	211
昭和46年度	186

年度	生徒数
昭和47年度	177
昭和48年度	157
昭和49年度	159
昭和50年度	158
昭和51年度	148
昭和52年度	133
昭和53年度	125
昭和54年度	105
昭和55年度	101
昭和56年度	101
昭和57年度	112



不動中学校沿革（1949年4月～1983年3月）

昭和24年4月1日	志賀野村・真国村組合立中学校の設立は、幾多の曲折と波乱を経て、昭和24年4月1日、両村組合立不動中学校として歴史的な発足をした。
昭和24年4月7日	真国小学校校舎予定地にて始業式・入学式を挙げる。 (教職員9名、生徒182名) 発足したもの独立校舎なく、当分、真国小学校、志賀野小学校の校舎の一部を借用。 志賀野村西方寺を借り受け本部とし、分散授業を実施。1年生は、両村にて別々の学級を編成、2・3年生は合併して一学級とし、一週間交替で両校舎へ交鎖通学する。
昭和24年6月18-28	生徒・教職員の校地整地作業の実施。
昭和24年10月10日	分散授業の困難さと弊害を思い、落成を待たずに新校舎へ移転する。
昭和24年10月31日	校舎新築記念秋季運動会を開催する。
昭和24年12月19日	校舎落成祝賀式を挙げる。
昭和25年3月17日	第1回卒業式を挙げる。
昭和26年3月19・20日	3年生60名が京都・大阪方面に1泊2日の第1回修学旅行を実施する。
昭和27年2月18日	同窓会を結成する。
昭和28年1月1日	元旦を全校登校日として書初めの会を実施する。
昭和28年7月18日	大水害のため臨時休業とする。
昭和30年4月1日	志賀野村は野上町に合併し、野上町・真国村組合立不動中学校と改称する。
昭和30年6月1日	真国村は美里町に合併し、野上町・美里町組合立不動中学校と改称する。
昭和31年7月3日	屋内体操場（講堂）落成祝賀式を挙げる。緞帳は育友会寄付で取り付け。
昭和33年4月8日	志賀野地区生徒が野上中学校へ転出する。
昭和35年4月28日	美里町立不動中学校に校名改称する。
昭和37年10月31日	真国小学校と合同運動会を開催する。
昭和38年4月13日	2年間建設工事を進めてきた校舎の落成式を挙げる。その後餅投げを行う。
昭和38年8月1-2日	初めての試みで校内合宿を実施（星の観察・クラブ発表・炊さんなどを行う）。
昭和40年6月2日	美里町発足10周年記念行事として全校生徒が旗行列を行う。
昭和40年9月10日	台風23号による多大な被害を受けたため臨時休業とする。
昭和41年2月4日	2年生31名が立志式を実施する。
昭和44年5月2日	生牛乳給食が開始される。
昭和45年4月22日	大阪市で開催された万国博覧会を全校生徒で見学する。
昭和46年10月24日	第26回国民体育大会（黒潮国体）開会式を生徒全員で見学する。
昭和47年12月21日	臨時の育友会総会を開催し、頭髪の自由化と自転車のヘルメット着用を決定する。
昭和50年11月2日	運動場防球ネットの設置が完了を機に、町職員、地域、生徒チームで、真国地区ソフトボール大会を実施し、生徒チームが優勝を飾る。
昭和52年3月4日	全国植樹祭記念樹（ウバメガシ、メタセコイヤ、フサアカシア）が配布され校内に植樹する。
昭和52年7月11日	体育館竣工式を挙げる。その後祝賀会を行う。
昭和57年2月13日	町内中学校意見発表会が神野中学校で開催され、全校生徒が参加する。
昭和57年5月19日	町教育委員会主催の学校統廃合説明会を実施する。真国小学校・不動中学校育友会長、校長、教頭、保育所保護者代表、主任教諭、育友会評議員が出席する。
昭和57年7月2日	校舎北側のフェンスの下にサザンカを記念植樹する。



昭和57年11月30日	町民会館において、神野中学校と合同の意見交換会が町行政主催で開催される。
昭和58年1月28日	育友会臨時総会を開催し、学校統合について協議する。
昭和58年1月31日	町議会において、神野中学校との統合が決定される。
昭和58年2月10日	育友会臨時総会を開催し、学校統合によって生じる諸問題について協議する。
昭和58年3月24日	修了式を終え、町主催の閉校式を挙げる。
昭和58年3月31日	本日をもって34年間の歴史を閉じる。卒業生総数1045名。4月より美里中学校へ生徒はバス通学となる。

不動中学校校歌 作詞・作曲 不詳

1 胸を張れ 手を伸ばせ

青空のかなた 希望の雲が浮んでいる

しゅろの若芽の 健やかに

伸びゆくわれら 手をつなぎ 光求めん

われら不動 われら不動



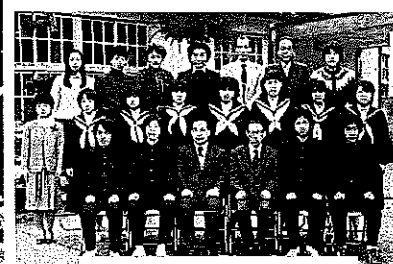
昭和28年卒業記念と学芸会



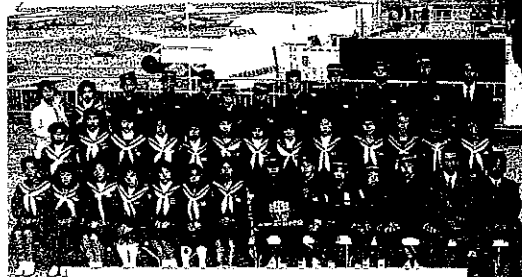
修学旅行（昭和35年）



修学旅行（昭和40年）



最後の卒業記念
（昭和58年）



修学旅行（昭和47年）



閉校前の風景（昭和58年）

不動中学校歴代管理職・育友会長

■ 歴代校長

敬称略

① 森本 喜代一（昭和24・25年度）	⑥ 角谷 巖 （昭和41～43年度）
② 田原 隆顕 （昭和26年度）	⑦ 古畑 常義 （昭和43～49年度）
③ 原 明籌 （昭和27～30年度）	⑧ 青木 豊 （昭和50～54年度）
④ 横山 潔 （昭和31～36年度）	⑨ 西古家 武 （昭和55～56年度）
⑤ 橋本 常市 （昭和37～40年度）	⑩ 瀬藤 敏宏 （昭和57年度）

■ 歴任教頭

敬称略

① 重谷 貞夫 （昭和24～25年度）	○ 山田 弘之 （昭和44～50年度）
② 稲田 良作 （昭和27・28年度）	○ 岩倉 崇 （昭和51年度）
③ 不詳	○ 谷垣内和夫 （昭和52～54年度）
○	○ 沢 忠夫 （昭和55～57年度）
○ 小林 勉 （昭和42・43年度）	

■ 歴代育友会長

敬称略

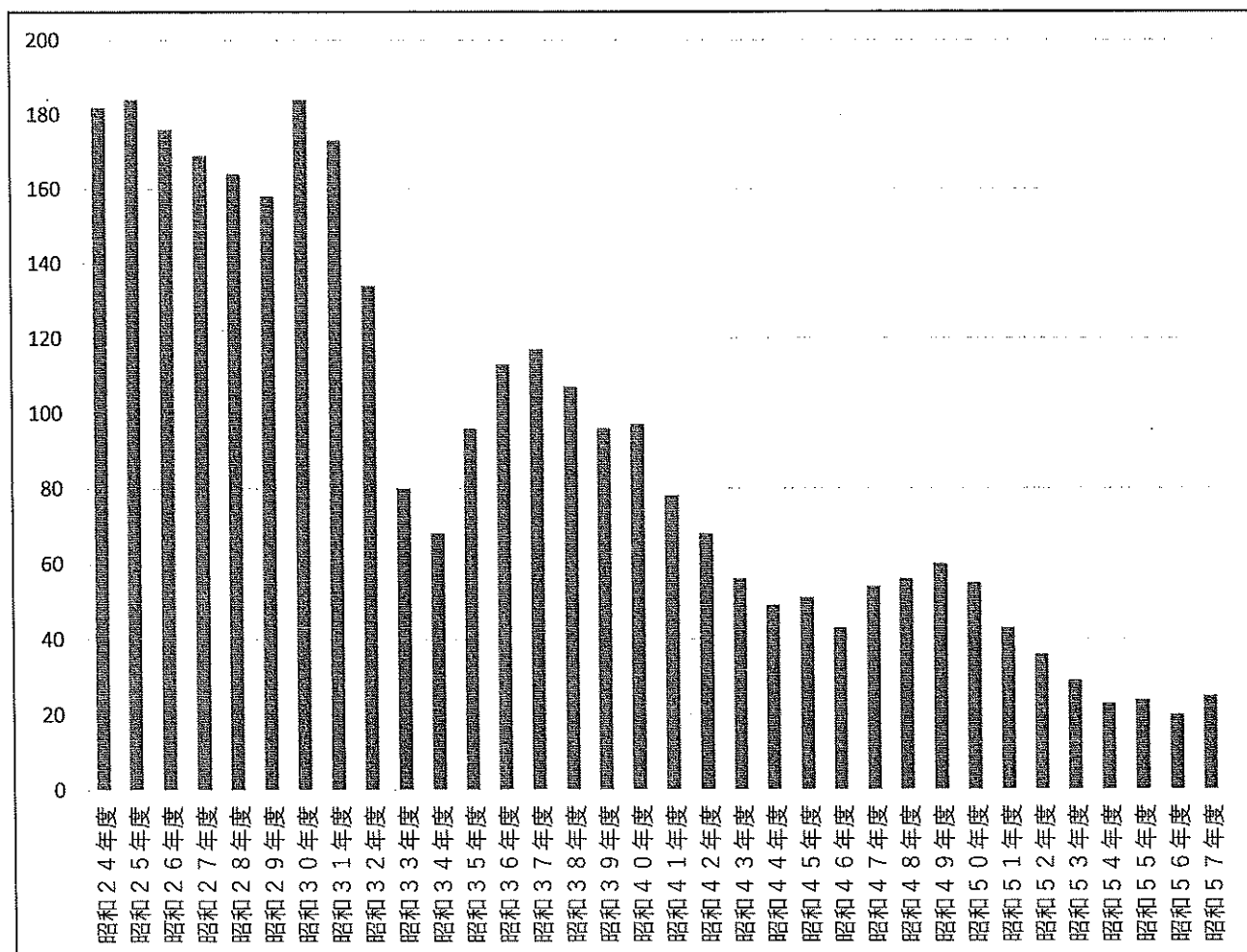
① 瀧本 義廣 （昭和24年度）	⑫ 宇田 益夫 （昭和41・42年度）
② 高岡 好永 （昭和25年度）	⑬ 大西 義光 （昭和43年度）
③ 中絵図 健一（昭和26年度）	⑭ 前坊 福雄 （昭和45年度）
④ 前 國長 （昭和27～29年度）	⑮ 前 圭作 （昭和46・47年度）
⑤ 七良浴 由隆（昭和30年度）	⑯ 新谷 登 （昭和48年度）
⑥ 北口 章 （昭和31年度）	⑰ 西浦 博夫 （昭和49～53年度）
⑦ 藪本 英一郎（昭和32年度）	⑱ 部屋浦 忠明（昭和54年度）
⑧ 中谷 亀石 （昭和33～36年度）	⑲ 北口 和幸 （昭和55年度）
⑨ 狭間 賢 （昭和37・38年度）	⑳ 寺岡 司郎 （昭和56年度）
⑩ 三浦 千秋 （昭和39年度）	㉑ 坂 明雄 （昭和57年度）
⑪ 新谷 登 （昭和40年度）	

不動中学校生徒数の変遷

年度	生徒数
昭和24年度	182
昭和25年度	184
昭和26年度	176
昭和27年度	169
昭和28年度	164
昭和29年度	158
昭和30年度	184
昭和31年度	173
昭和32年度	134
昭和33年度	80
昭和34年度	68
昭和35年度	96

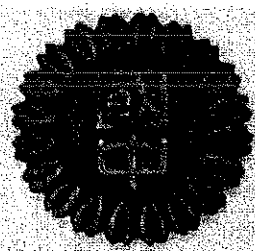
年度	生徒数
昭和36年度	113
昭和37年度	117
昭和38年度	107
昭和39年度	96
昭和40年度	97
昭和41年度	78
昭和42年度	68
昭和43年度	56
昭和44年度	49
昭和45年度	51
昭和46年度	43
昭和47年度	54

年度	生徒数
昭和48年度	56
昭和49年度	60
昭和50年度	55
昭和51年度	43
昭和52年度	36
昭和53年度	29
昭和54年度	23
昭和55年度	24
昭和56年度	20
昭和57年度	25

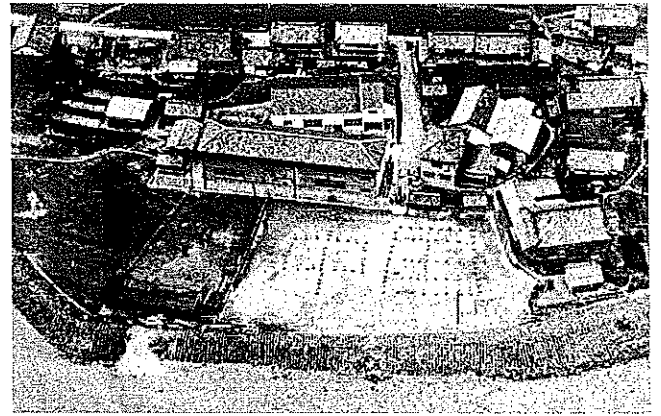


猿川中学校・国吉中学校沿革（1947年5月～1985年3月）

昭和22年5月3日	学制改革により猿川村にも新制中学校発足準備に掛かり、小学校の校舎を借用し、猿川新制中学校の開校式を挙げる。 (那賀郡猿川村大字田北原6番地 生徒数117名)
昭和23年1月23日	校章を制定する。
昭和24年2月22日	新築校舎落成
昭和24年10月25日	猿川村青年団のために夜間学校を開く。
昭和26年11月1日	那賀郡猿川村から海草郡国吉村に改称のため、海草郡国吉村立国吉中学校に校名を変更する。
昭和27年3月5日	運動場工事のため、放課後1時間、各学年別で交互に奉仕作業を行う。
昭和28年7月18日	大水害により、今西・松ヶ峯・中地区の県道流失。在校生1名死亡、家屋被害生徒53名。
昭和28年7月21日	陸の孤島化となり、飛行機から食糧投下、翌日はヘリコプターで運搬された食料が配分された。
昭和28年9月26日	台風13号の被害により、橋及び通学路の流失、山崩れのため臨時休業とする。
昭和28年10月2日	生徒全員で道路復旧作業を行う。
昭和30年5月10日	新校舎に移転する
昭和30年6月1日	長谷毛原村・国吉村・上神野村・下神野村の合併により美里町が発足する。校名を美里町立国吉中学校に改称する。
昭和30年9月30日	田中薫氏・前畔宗助氏の寄贈による校門が完成する。
昭和31年2月29日	東平利治氏、及び美里町の寄付によりピアノを購入する。国吉小学校学芸発表会と併せてピアノ開きを挙げる。
昭和32年5月18日	野球部スパイク購入のために、午後1時より全校生徒で薪運び作業を行う。
昭和32年6月22日	創立10周年行事として同窓会を組織する。名称「国吉中学校同窓会」会長 本多慎一氏
昭和32年12月21日	創立10周年記念式典を開催。 (校歌制定、校旗作成、生徒像・少女像建造、国旗掲揚台の建設、学校林の創設)
昭和35年6月1日	制服制度規定を実施する。(9月1日までを準備期間とする)
昭和36年12月8日	県指定実験学校研究会(最終)を開催する。 主題「特別活動における進路指導」
昭和37年1月26日	第1回校内マラソン大会を実施する。(男子3km、女子2km)
昭和39年1月22日	町及び地区内各位の努力により教育用テレビ1台を設置する。
昭和42年11月5日	運動場スタンド完成
昭和45年6月4-5日	万国博覧会を全校生徒で見学し、京都市で宿泊する。
昭和51年5月12日	体育館竣工式・祝賀会を開催する。
昭和55年7月7日	本年度より町内4中学校合同キャンプを学年別で実施する。 (1年生;紀北青年の家、2年生;産湯海岸、3年生;美里町森林公園)
昭和56年12月29日	運動場の5カ所に投光器が完備される。
昭和57年4月26日	5月10日を開校記念日とする。
昭和59年1月13日	美里中学校への統合問題について、国吉支所において保護者総会を開催する。町の統合計画の説明後に質疑応答があり、保護者会としては、昭和60年4月からの統合に賛成の決議を行う。
昭和59年1月7日	親生会総会を開催し、統合問題について協議する。意見交換の後、親生会として賛同することとなる。
昭和60年3月23日	修了式を終え、町主催の閉校式を挙げる。その後、統合記念懇親会を開催する。
昭和60年3月31日	本日をもって38年間の歴史の幕を閉じる。美里中学校との統合となり、4月より生徒はバス通学となる。



- 1 棕櫚ときわ木の みどり濃く 若き力の たぎりあり
ここに立てり わが国吉中
貴志川清く せせらぎて 長峯いまに 雲蒼し
- 2 桜の花の におわしく 清き姿を 仰ぎつつ
ここに立てり わが国吉中
きずなの古き たちきりて 住みよき郷土 ひらくため
- 3 ああ悠久の 大自然 山のいのちの いさぎよき
ここに立てり わが国吉中
文化のもとい 築いては 世界の道を 歩むため



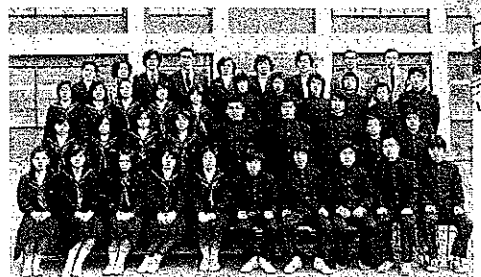
昭和29年頃の写真



昭和32年頃の写真



修学旅行（昭和36年）



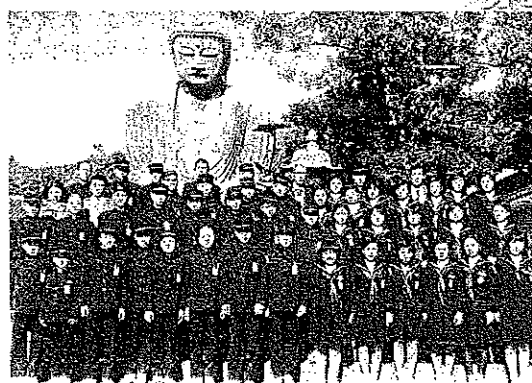
全校生徒・教職員（昭和51年）



全校生徒・教職員（昭和59年度）



修学旅行（昭和41年）



修学旅行（昭和45年）



卒業生（昭和46年度）



奉仕作業（昭和48年）

猿川中学校・国吉中学校歴代管理職・育友会長

■ 歴代校長

敬称略

① 今熊 豊 (昭和22～25年度)	⑦ 塩崎 茂 (昭和44～48年度)
② 尾絵 幸治 (昭和26～31年度)	⑧ 宗 健 (昭和49～52年度)
③ 阪口 正雄 (昭和32～34年度)	⑨ 山畑 義正 (昭和53・54年度)
④ 西峯 茂雄 (昭和35～37年度)	⑩ 堀田 多務呂 (昭和55・56年度)
⑤ 藪根 重治 (昭和38～40年度)	⑪ 木下 馨 (昭和57～59年度)
⑥ 稲田 良作 (昭和41～43年度)	

■ 歴任教頭

敬称略

① 東尾 光次朗 (昭和22～25年度)	⑥ 山畑 義正 (昭和47年度)
② 松上 栄吾 (昭和26～35年度)	⑦ 松尾 好司 (昭和48～55年度)
③ 土井 弘仁 (昭和36～39年度)	⑧ 坂口 伊令 (昭和56年度)
④ 中兀 富功 (昭和40年度)	⑨ 西 時男 (昭和57・58年度)
⑤ 木下 馨 (昭和41～46年度)	⑩ 東浦 啓祐 (昭和59年度)

■ 歴代親生会長

敬称略

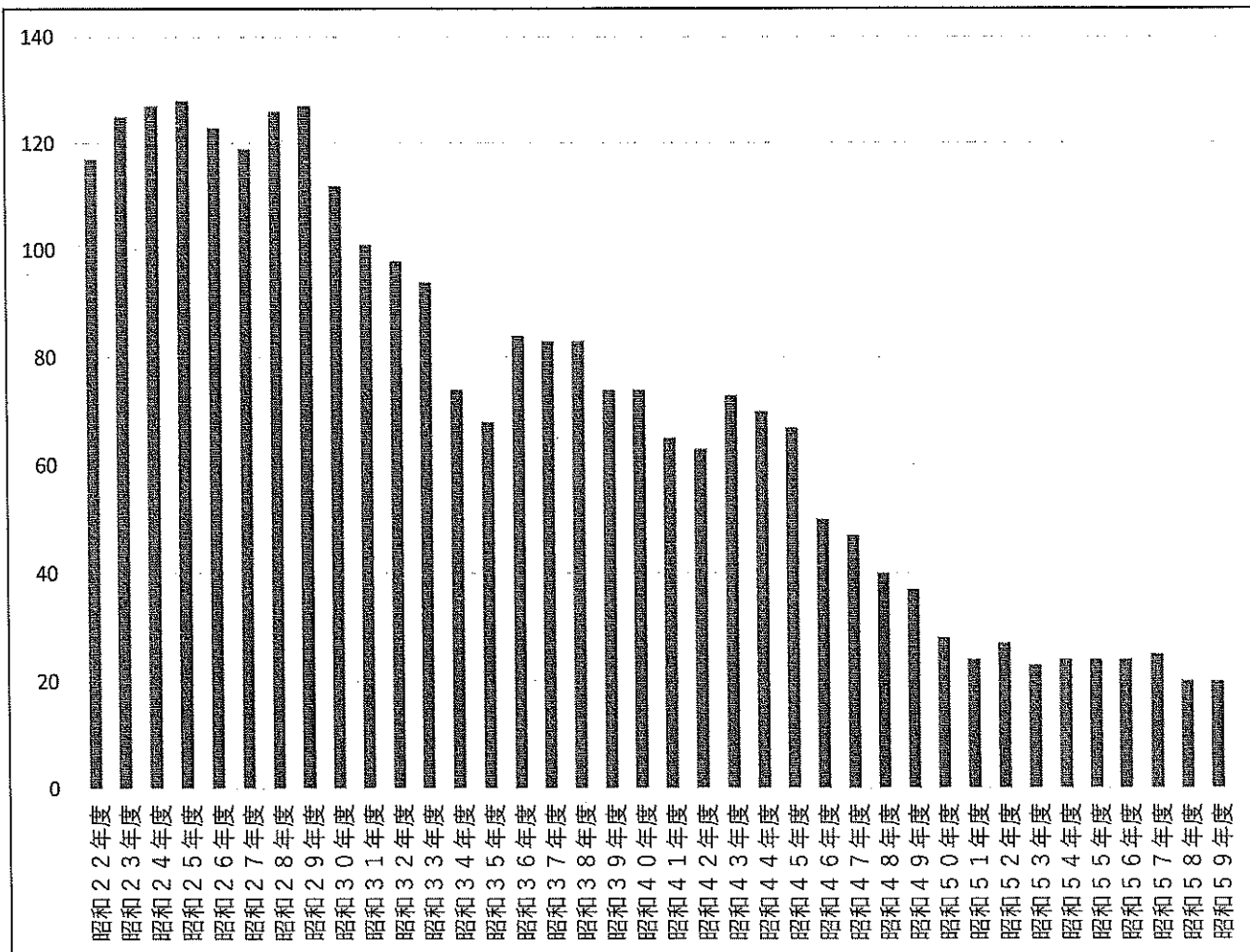
① 向林 久太郎 (昭和22～30年度)	⑨ 中 智 (昭和49年度)
② 戸塚 敬男 (昭和31年度)	⑩ 上辻 良一 (昭和50年度)
③ 阪口 勉 (昭和32・33年度)	⑪ 上西 康雄 (昭和51年度)
④ 橋戸 三郎 (昭和34・35年度)	⑫ 東岡 秀悟 (昭和52～54年度)
⑤ 岩見 清 (昭和36～41年度)	⑬ 東垣 定次 (昭和55～56年度)
⑥ 尾西 巧 (昭和42～44年度)	⑭ 新野 一郎 (昭和57年度)
⑦ 塚田 政成 (昭和45～47年度)	⑮ 榎本 孝幸 (昭和58年度)
⑧ 尾上 邦延 (昭和48年度)	⑯ 東垣 定次 (昭和59年度)

猿川中学校・国吉中学校生徒数の変遷

年度	生徒数
昭和22年度	117
昭和23年度	125
昭和24年度	127
昭和25年度	128
昭和26年度	123
昭和27年度	119
昭和28年度	126
昭和29年度	127
昭和30年度	112
昭和31年度	101
昭和32年度	98
昭和33年度	94
昭和34年度	74

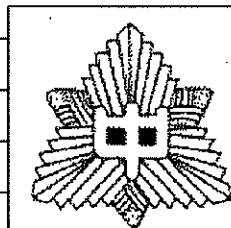
年度	生徒数
昭和35年度	68
昭和36年度	84
昭和37年度	83
昭和38年度	83
昭和39年度	74
昭和40年度	74
昭和41年度	65
昭和42年度	63
昭和43年度	73
昭和44年度	70
昭和45年度	67
昭和46年度	50
昭和47年度	47

年度	生徒数
昭和48年度	40
昭和49年度	37
昭和50年度	28
昭和51年度	24
昭和52年度	27
昭和53年度	23
昭和54年度	24
昭和55年度	24
昭和56年度	24
昭和57年度	25
昭和58年度	20
昭和59年度	20



長谷毛原中学校沿革（1947年5月～2017年3月）

昭和22年5月3日	新制中学校の設置について、学制改革準備委員会で協議を重ね、暫定措置として、毛原宮分教場校舎を新制中学校校舎として使用することとした。また、長谷区内の1・2年生の校舎は、長谷小学校内に併置することとした。 新憲法実施の記念日を期して、午後1時より村民多数参集して開校式を盛大に催す。また、引き続いて祝賀会を行う。 生徒数 156名 4月1日付で職員補職発令される。初代 大越徳次 校長 他7名 PTA発足、総会開催
昭和24年9月30日	校章・バッジの制定（完成）
昭和24年11月26日	5校（猿川小学校・猿川中学校・毛原小学校・長谷小学校・長谷毛原中学校）連合体育会を本校で開催する。
昭和26年5月19日	新校舎上棟式
昭和26年7月20日	中学校中学生会結成
昭和26年10月6日	新校舎完成
昭和26年11月15日	地方有志寄贈材料をもとに国旗掲揚台新設
昭和26年11月19日	午前に新校舎落成祝賀会挙行。午後に余興及び餅投げ等の行事を行う。
昭和26年12月15日	町内有志による用材等の寄付援助により、校庭周囲のバックネットが完成する。
昭和28年7月18日	大水害により全村域が被害を受け、7月30日からの夏季休業に接続する期間を臨時休業とする。校舎を避難所として開放する。（33世帯・11名）
昭和28年11月27日	水害による食糧事情悪化のため、ユニセフよりミルクの贈与を受け補助給食を開始する。
昭和29年6月30日	豪雨による橋流失、県道数カ所崩壊のため臨時休業（7日間）
昭和30年6月1日	長谷毛原村・国吉村・上神野村・下神野村が合併して美里町が発足。美里町立長谷毛原中学校となる。
昭和30年9月5日	細野村立細野中学校の勝谷地区生徒20名が転入する。
昭和31年1月30日	校歌完成（久世正富 作詞、片山頼太郎 作曲）
昭和31年2月6日	長谷毛原地区出身者9名と地元商工会からの寄付によりピアノを購入する。
昭和31年9月7日	相撲部の新設（地区有志の後援で校舎西側に土俵を設置）
昭和32年5月18日	野球部スパイク購入のために、午後1時より全校生徒で薪運び作業を行う。
昭和32年11月3日	創立10周年記念及び図書館竣工祝賀会を開催し、引き続き相撲及び投餅を行う。
昭和34年4月16日	へき地集会室が竣工し、落成祝賀式を挙行する。
昭和35年2月20日	中学生会支援の下に、歯ブラシ販売運動を実施し、教育用テレビを購入設置する。
昭和36年6月9日	特別教室（理科室・工作室）増築竣工
昭和37年9月24日	「自主」「積極」「辛抱強く」の校訓を制定する。
昭和43年2月5日	第1回尚志式を挙行、2年生が自己雄抱負を発表し、それを激励祝福する。
昭和43年2月10日	創立30周年を記念誌で卒業生名簿を発刊して配布する。
昭和45年11月20日	第21回和歌山県へき地教育研究協議会を本校を会場として開催する。（参加85名） 主題「生徒の思考を高める（創造性を高める）ための指導はどうすればよいか」
昭和46年10月20日	第26回国民体育大会（黒潮国体）炬火リレーに参加（代表25名）。
昭和48年8月1・2日	大阪府四条畷中学校2年生がキャンプのため来校し、本校バレー部と親善試合を行う。
昭和50年11月10日	文部省指定生活指導研究発表会を開催する。（参加120名）



昭和55年7月12・13日	新校舎落成に伴い、中生会員が植樹する。 新校舎落成祝賀会を開催する。(参加約300名)
昭和55年9月2日	9月2日を開校記念日とする。
昭和57年9月26日	第1回4校(大成高等学校美里分校・毛原小学校・毛原保育園・本校)合同運動会を開催する。
昭和58年11月8日	県へき地教育研究発表会を本校で開催 テーマ「たくましく豊かに生きようとする個と集団の育成」(参加約100名)
昭和59年11月5日	県・町指定勤労体験学習実践校研究発表会を本校で開催する。(参加約100名)
平成1年1月8日	昭和天皇崩御により元号が平成となる。
平成3年11月12日	文科省指定・海草地方指定道徳教育研究会、兼海草地方へき地教育研究会実践発表会を開催。(参加約120名)
平成5年6月9日	皇太子徳仁親王御成婚により休日となる。
平成10年11月27日	県音楽教育研究大会で、生徒全員で太鼓演奏を披露する。
平成11年4月17日	のぞみ会の指導により毛原小学校児童と合同であまご釣り大会を実施する。
平成13年11月16日	県へき地教育研究大会が本校を会場として開催され、提案発表を行う。
平成15年11月14日	校舎から体育館への渡り廊下が完成する。
平成17年4月8日	学校給食が開始される。
平成18年1月1日	野上町・美里町が合併して紀美野町が発足する。校名を紀美野町立長谷毛原中学校と改称する。(生徒数の減少により学級数が2となる)
平成20年11月25日	文部科学省指定道徳教育実践研究「人間としての在り方生き方を考える教育」発表会を開催する。(参加約70名)
平成23年3月15日	毛原保育所・毛原小学校・長谷毛原中学校の保護者及び教職員、学校評議員、各区長が集まり、地域の保育所・学校の今後の運営について協議する。
平成23年4月1日	新入生がいないため、1学級規模となる。
平成24年2月27日	中生会の補助により、運動場周辺にサクラを植樹する。
平成24年4月1日	毛原小学校を本校に移転し、小中学校として教育活動を開始する。学校長は毛原小学校長が兼務する。
平成29年3月24日	町教育委員会主催で、毛原小学校・長谷毛原中学校の休校式を挙げる。
平成29年3月31日	本校70年間の歴史を閉じ休校となる。4月1日からは美里中学校へ統合となる。

長谷毛原中学校校歌

作詞 久世 正富 作曲 片山 穎太郎

1 青き山なみ 谷間の緑
日はかがやかに 美しこの里
しゅろの葉かげに 平和をたたえ
おつび楽しく 学べるわれら
長谷毛原 長谷毛原中学 栄えあれ

2 貴志の川上 流れも清く
さばしる鮎の 希望に燃えて
若さかがやき みなぎる力
明日の文化の いしづえ築く
長谷毛原 長谷毛原中学 栄えあれ

第1回卒業記念(昭和23年)



卒業記念旅行(昭和25年)

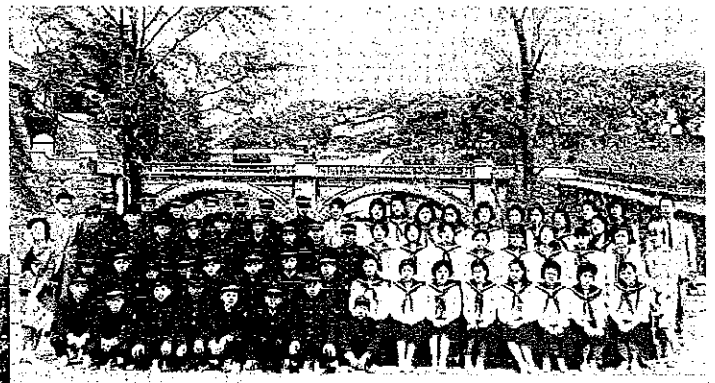




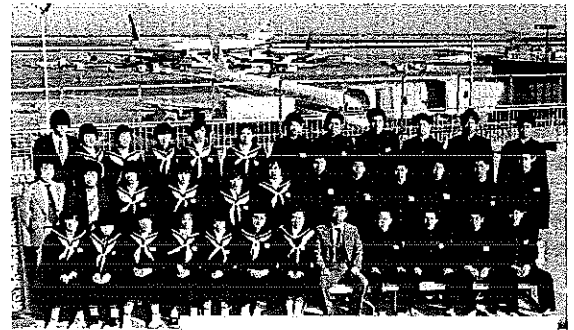
秋季運動会（昭和27年）



植林作業（昭和36年頃）



修学旅行（昭和38年）



修学旅行（昭和52年）



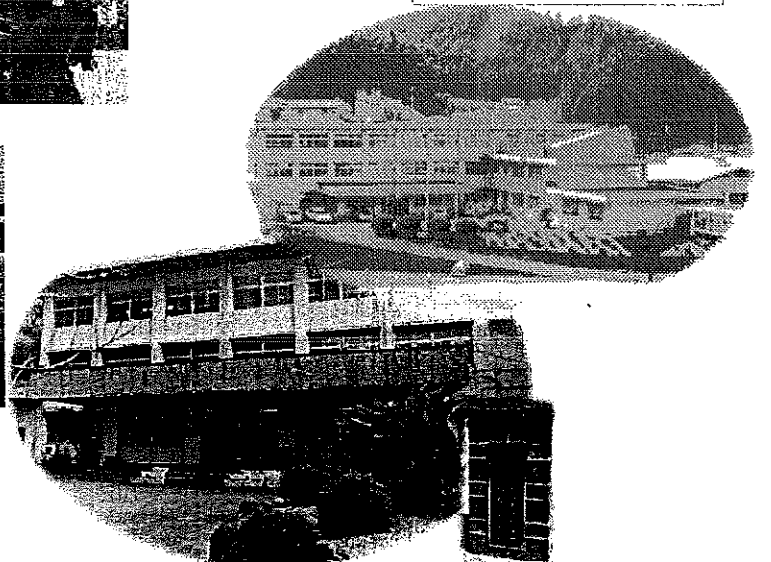
体育祭（昭和51年）



遠足（昭和54年）



キャンプ（昭和55年）



体育祭（平成28年）



毛原小学校
長谷毛原中学校
休校時の児童生徒
（平成29年）

長谷毛原中学校歴代管理職・育友会長

■ 歴代校長

敬称略

① 大越 徳次 (昭和22~25年度)	⑫ 東浦 啓祐 (平成元~3年度)
② 今熊 豊 (昭和26~28年度)	⑬ 永尾 泰和 (平成4年度)
③ 大隈 末雄 (昭和29・30年度)	⑭ 井澤 慶三 (平成5~7年度)
④ 楠嶺 守 (昭和30~36年度)	⑮ 橋本 由平 (平成8~12年度)
⑤ 東尾光次郎 (昭和37~41年度)	⑯ 妻木 康彰 (平成13~15年度)
⑥ 高岡 健三 (昭和42~47年度)	⑰ 福山 功 (平成16~20年度)
⑦ 口井輝一郎 (昭和48~50年度)	⑱ 大西 孝亮 (平成21~23年度)
⑧ 下店日出男 (昭和51~54年度)	⑲ 松尾 詩朗 (平成24年度)
⑨ 土井 弘仁 (昭和55~58年度)	⑳ 亀井 晴史 (平成25年度)
⑩ 松尾 好司 (昭和59・60年度)	㉑ 上田 国裕 (平成26年度)
㉒ 今西 功 (昭和61~63年度)	㉒ 中家 覚 (平成27・28年度)

■ 歴代教頭

敬称略

① 畑 倭文男 (昭和22年度)	⑬ 小川佳麿呂 (昭和56~59年度)
② 中谷 太郎 (昭和23年度)	⑭ 東浦 啓祐 (昭和60~62年度)
③ 上中 敏照 (昭和24・25年度)	⑮ 永尾 泰和 (昭和63~平成3年度)
④ 上中 利知 (昭和25年度)	⑯ 神崎 博介 (平成4~6年度)
⑤ 弓庭 輝清 (昭和26~28年度)	⑰ 小西 利計 (平成7~9年度)
⑥ 上村 正治 (昭和29~32年度)	⑱ 宇恵幸次郎 (平成10~15年度)
⑦ 磯野 学 (昭和32・33年度)	⑲ 中谷 泰和 (平成16~17年度)
⑧ 中前 頼夫 (昭和34・35年度)	㉑ 地村 知三 (平成19~21年度)
⑨ 下店日出男 (昭和36~39年度)	㉒ 中谷 泰和 (平成24~26年度)
⑩ 土井 弘仁 (昭和40~44年度)	㉒ 浦 貴子 (平成27年度)
⑪ 下店日出男 (昭和45~50年度)	㉓ 堀畑 秀行 (平成28年度)
⑫ 中幡 正巳 (昭和51~55年度)	※不在 (平成18・22・23年度)

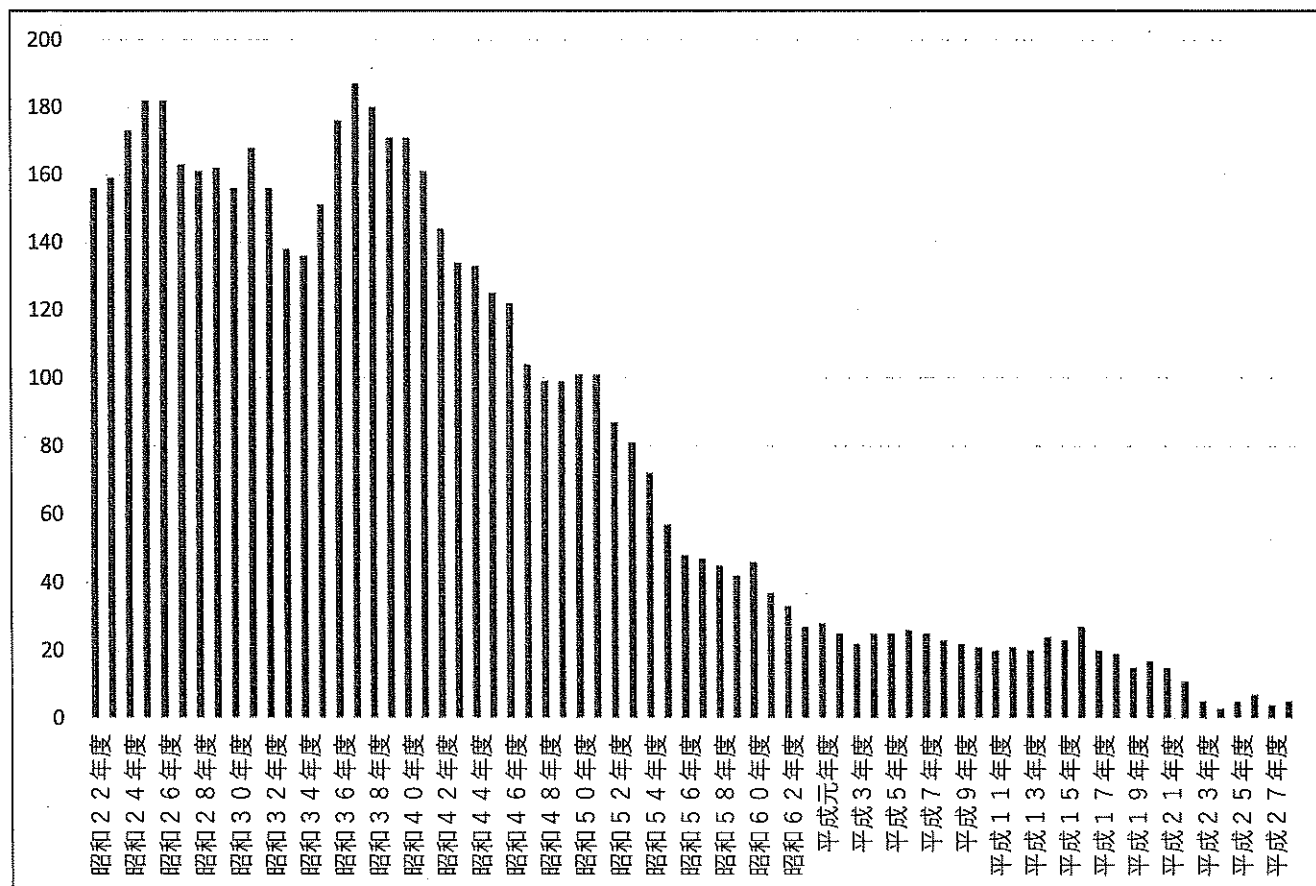
■ 歴代育友会長

敬称略

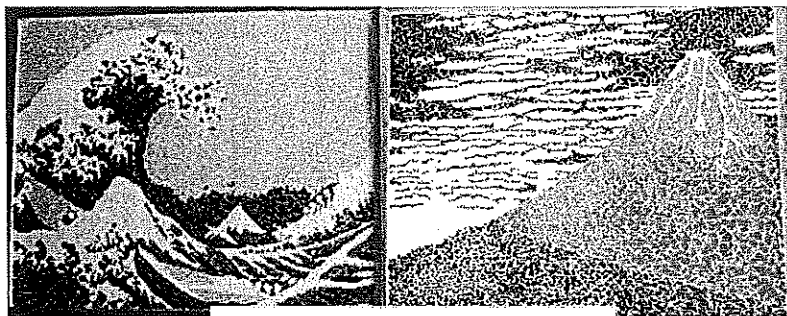
① 久保 英治 (昭和27~32年度)	㉑ 新谷 達夫 (平成9年度)
② 上中 隆嗣 (昭和33年度)	㉒ 西 茂 (平成10年度)
③ 東芝 博治 (昭和34~37年度)	㉒ 吉田 立夫 (平成11年度)
④ 田下 準三 (昭和38・39年度)	㉓ 東 文男 (平成12年度)
⑤ 前岡 完治 (昭和40・41年度)	㉔ 西 茂 (平成13年度)
⑥ 森下 繁義 (昭和42年度)	㉕ 村木一博 (平成14年度)
⑦ 新谷 栄治 (昭和43~51年度)	㉖ 上保 修義 (平成15年度)
⑧ 上中 忠雄 (昭和52~56年度)	㉗ 南 昭和 (平成16年度)
⑨ 前上 晋作 (昭和57・58年度)	㉘ 中谷 康弘 (平成17年度)
⑩ 橋本 博 (昭和59・60年度)	㉙ 西畔 克博 (平成18年度)
⑪ 古谷 英和 (昭和61年度)	㉚ 中谷 博昭 (平成19年度)
⑫ 炭家 英明 (昭和62・63年度)	㉛ 山路 肇 (平成20・21年度)
⑬ 正殿 順亮 (平成元年度)	㉜ 向井中義夫 (平成22年度)
⑭ 平野 義隆 (平成2年度)	㉜ 平井 二嗣 (平成23年度)
⑮ 東浦 精次 (平成3年度)	㉝ 西澤 知之 (平成24年度)
⑯ 豊田 満夫 (平成4年度)	㉞ 弓庭 昌治 (平成25年度)
⑰ 井岡 政嗣 (平成5・6年度)	㉞ 佐野 智美 (平成26年度)
⑱ 土井 正臣 (平成7年度)	㉟ 弓庭 昌治 (平成27年度)
㉑ 東 文男 (平成8年度)	㉟ 田村 歩 (平成28年度)

長谷毛原中学校生徒数の推移

年度	生徒数	年度	生徒数	年度	生徒数	年度	生徒数
昭和22年度	156	昭和40年度	171	昭和57年度	47	平成11年度	20
昭和23年度	159	昭和41年度	161	昭和58年度	45	平成12年度	21
昭和24年度	173	昭和42年度	144	昭和59年度	42	平成13年度	20
昭和25年度	182	昭和43年度	134	昭和60年度	46	平成14年度	24
昭和26年度	182	昭和44年度	133	昭和61年度	37	平成15年度	23
昭和27年度	163	昭和45年度	125	昭和62年度	33	平成16年度	27
昭和28年度	161	昭和46年度	122	昭和63年度	27	平成17年度	20
昭和29年度	162	昭和47年度	104	平成元年度	28	平成18年度	19
昭和30年度	156	昭和48年度	99	平成2年度	25	平成19年度	15
昭和31年度	168	昭和49年度	99	平成3年度	22	平成20年度	17
昭和32年度	156	昭和50年度	101	平成4年度	25	平成21年度	15
昭和33年度	138	昭和51年度	101	平成5年度	25	平成22年度	11
昭和34年度	136	昭和52年度	87	平成6年度	26	平成23年度	5
昭和35年度	151	昭和53年度	81	平成7年度	25	平成24年度	3
昭和36年度	176	昭和54年度	72	平成8年度	23	平成25年度	5
昭和37年度	187	昭和55年度	57	平成9年度	22	平成26年度	7
昭和38年度	180	昭和56年度	48	平成10年度	21	平成27年度	4
昭和39年度	171					平成28年度	5



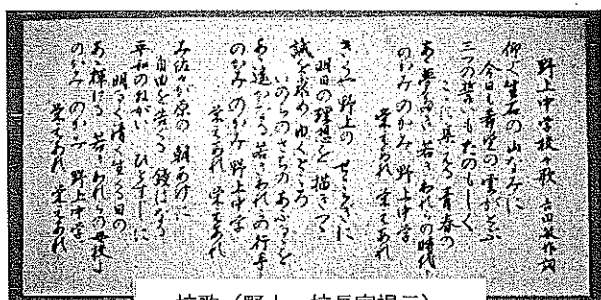
現存する卒業記念作品等



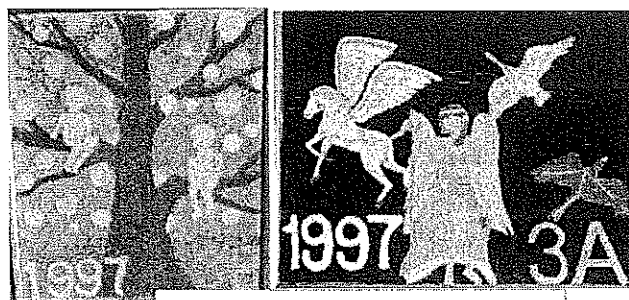
卒業記念作品（美里・平成8年）



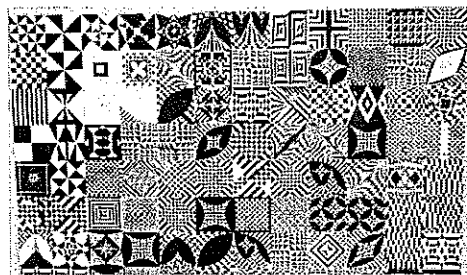
卒業記念作品（美里・平成4年度）



校歌（野上・校長室掲示）



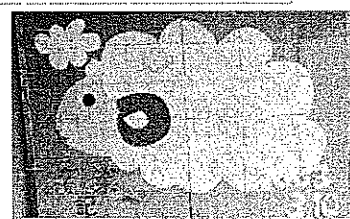
卒業記念作品（美里・平成9年度）



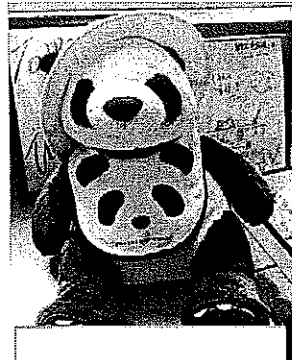
卒業記念作品（野上・平成18年度）



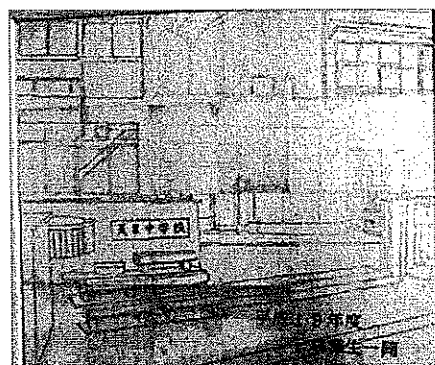
卒業記念作品（美里・平成16年度）



卒業記念作品
（美里・平成15年度）



賞品—アドベンチャーワールド—
（野上・平成3年度）



卒業記念作品（美里・平成19年度）



卒業記念作品（美里・令和4年度）

《編集後記》

本記念誌編集に当たり、大切に保管されている卒業アルバムをお貸し下さる方、当時の様子を一生懸命思い出そうとして下さる方、当時の級友に連絡を取って下さる方など、ご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。

閉校となる野上中学校・美里中学校には、開校以前からそれぞれの校風が伝統として受け継がれてきました。学校の歴史はその時々を生きた人々の日々の歴史であり、それぞれの地域の風土の歴史であると取材を通して感じました。

新制中学校がスタートしてから約80年を刻む記念誌として十分な役目を果たすまでには至りませんが、地域の先人が築いてきた中学校教育の歩みを読者の皆様に少しでもお伝えできれば幸いです。

発行日	令和7年2月吉日
発行者	紀美野町教育委員会 〒640-1192 和歌山県海草郡紀美野町動木287
編集	紀美野町立中学校統合準備委員会（3部会）

第4部会：PTA組織等について

令和6年

8月21日 部会長、中学校長、教頭及び事務局において内容協議

9月3日 第4部会開催

- ① 紀美野町立紀美野中学校育友会規約（案）について
- ② 紀美野町立紀美野中学校育友会規約細則（案）について
- ③ 紀美野町立紀美野中学校育友会組織図（案）について
- ④ 紀美野町立紀美野中学校育友会行事・活動（案）について
- ⑤ 紀美野町立紀美野中学校育友会予算（案）について
- ⑥ 紀美野町立紀美野中学校育友会慶弔規程（案）について

9月26日 統合準備委員会全体会へ最終案の報告

↓

今後の流れ

- ・二学期中を目途に中学校において、現中学1年2年を対象とした臨時合同保護者会を開催し、事前説明を行う。
- ・その他、追加事項あれば両中学校育友会において、協議を進める。

P 6 2 ～ P 6 8 は各育友会承認後に掲載予定

- ① 紀美野町立紀美野中学校育友会規約（案）について
- ② 紀美野町立紀美野中学校育友会規約細則（案）について
- ③ 紀美野町立紀美野中学校育友会組織図（案）について
- ④ 紀美野町立紀美野中学校育友会行事・活動（案）について
- ⑤ 紀美野町立紀美野中学校育友会予算（案）について
- ⑥ 紀美野町立紀美野中学校育友会慶弔規程（案）について

(2) 協議

Ⅰ 各部会内容について

2 今後のスケジュールについて

紀美野中学校開校のスケジュール

令和6年9月

野上中学校・美里中学校

紀美野中学校

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	4年生	5年生	5年生	6年生	6年生	1年生	1年生(45人)
小学校児童	5年生					1年生	2年生(52人)
	6年生					2年生	3年生(39人)
	1年生					3年生	
中学校生徒	2年生						
	3年生						

項目	検討主体	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度
全体会		10月	1月	3月	4月	7月	10月	1月	3月	4月	
条列案	議会・教育委員会	開 催	開 催	開 催	開 催	開 催	開 催	開 催	開 催	開 催	
校名 学校運営協議 会	小中学校長 運営協議会 教育委員会	9月 教育委員会付議、議会上程			美里中学校校舎活用検討			令和7年度 学校運営協議会設置案			学校運営協議会 (新組織)
校歌	《部会1》 高村 (東浦 小西)	歌詞の一部募集 (募集範囲) (回収方法) HPへ掲載 作詞:津田氏再依頼 作詞作曲編曲予算			作曲;依頼者選 定・決定			歌詞決定 作曲決定 編曲完成			設置
校章 校旗	松本、山下 中学校長	デザイン 制作者選定・決定			作曲者に依頼 デザイン制 作者に依 頼			校歌完成 掲示用校歌銘板準備			設置
校訓 校色		校訓案・校色案 (中学校長・教委) ※準備委員会承 認・決定			校旗(2種)選考 予算			発注			校旗完成
教育計画	中学校長・教頭 教職員・生徒会	令和7年度原案検討 (教育目標・行事・日課調整)			校訓決定			掲示用校訓準備			設置
校則		2中学校校検討会議			令和7年度案作成 (教育目標・行事・日課等試行・修正)			校則試行 入学説明 会			4月校則決定 内規;継続的に修 正

制服 体操服 バッグ 上靴 体育館シューズ 他	《部会2》 小坂 (小西 上田 浦) 山下 中屋脩、芝浩、ファン ダンナム、東本、 宇城、清水、林 中学校長・教頭	PTA委員選出 意向調査作成 (小・中保護者) 回収方法検討 HPへ掲載	調査結果を基に 原案作成 準備委員会に報 告 ①制服 (新デザイン) ②体操服 ③バッグ ④上靴 ⑤体育館シュー ズ 児童生徒保護者 意向調査	販売業者 (在庫対 応等) サンプル 選定 名札 自転車ヘルメット 自転車ステッカー 検討・決定 予算	制服等の 部会案を 2,3種に 絞る	児童生徒・ 保護者ア ンケート	制服、体操 服、バッ グ、通学用 靴、上靴、 他 決定	学生証 決定 発注 (最終)	入学説明 会	
指定校変更 通学支援バス	教育委員会 学校	令和5年度の運行計画作成 利用者把握 ※運行予算	令和5年度の運行計画作成 利用者把握 ※運行予算							
スクールバス								令和7年度運行体制検討		新経路で運用
通学路の安全 対策	教育委員会 (青少年センター)	教育委員会・学校・PTA 警察・町建設課・県へ要望	通学安全見守り体制・組織化の検討	通学安全見守り体制・組織化の準備						
開校式典 記念誌 記念品展示	《部会3》 中屋 中家 (東浦 浦) 松本、山下 若林、中野、中谷 清水、林 中学校長・教頭	記念誌の発刊・構成検討 (原稿依頼者の検討) 式典の開催日決定 内容検討 原案を準備委員会へ提案 開催日の決定	式典内容・記念誌資料の収集・構成 記念品・展示場所 検討 式典・記念誌・記念品 内容を準備委員会へ 提案・決定 予算 式典の詳細を検討 式典内容を準備委員 会へ提案・決定 予算 式典内容を準備委員 会へ提案・決定 予算	案内(中学校) 記念誌印刷業者発注 記念品展示場所決定 式典の詳細を検討 案内(未定) (教委)	式典準備 (生徒役 割)	開校式	記念品展示			
小学校 PTA	《部会4》 松尾 (西田 上田) ファンダンナム、東 本、宇城、清水、林 小中学校長・教頭	PTA組織のあり 方 合同会議で検討	交流計画・交流事業実 施 交流計画・交流事業実 施 PTA会費の繰越し用途検討	交流計画・交流事業実 施 交流計画・交流事業実 施 PTA会費の繰越し用途検討	交流計画・交流事業実 施 交流計画・交流事業実 施 PTA会費の繰越し用途検討	交流計画・交流事業実 施 交流計画・交流事業実 施 PTA会費の繰越し用途検討	交流計画・交流事業実 施 交流計画・交流事業実 施 PTA会費の繰越し用途検討	交流計画・交流事業実 施 交流計画・交流事業実 施 PTA会費の繰越し用途検討	交流計画・交流事業実 施 交流計画・交流事業実 施 PTA会費の繰越し用途検討	交流計画・交流事業実 施 交流計画・交流事業実 施 PTA会費の繰越し用途検討
中学校 PTA										
学校見学会	学校	11月を中心に授業見学日を設定	授業見学・交流学習参観日を設定	授業見学・交流学習参観日を設定	授業見学・交流学習参観日を設定	授業見学・交流学習参観日を設定	授業見学・交流学習参観日を設定	授業見学・交流学習参観日を設定	授業見学・交流学習参観日を設定	小学校交流参観 統合後も、小学校の 交流を継続
交流活動	学校	学年別に交流計画作成 交流実施	学年別に交流実施 改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	学年別に交流実施 改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	学年別に交流実施 改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	学年別に交流実施 改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	学年別に交流実施 改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	学年別に交流実施 改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	学年別に交流実施 改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	学年別に交流実施 改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)
校舎等 改修検討	教育委員会 学校	先進事例調査 改修計画 ※予算	改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等準備品 予算確保 部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)
部活動	学校 教育委員会	部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)	部活動に関する検討 (朝練、部活動の種類、その他)
生徒会	学校 生徒会		生徒会組織調整 中学校合同会議	生徒会組織調整 中学校合同会議	生徒会組織調整 中学校合同会議	生徒会組織調整 中学校合同会議	生徒会組織調整 中学校合同会議	生徒会組織調整 中学校合同会議	生徒会組織調整 中学校合同会議	生徒会組織調整 中学校合同会議

(3) その他

